令和7年度 第1回長岡市地域公共交通協議会

資 料

長岡市地域公共交通協議会 令和7年6月27日(金)

議決事項 第1号

令和6年度事業報告及び令和6年度歳入歳出決算報告

1. 令和6年度事業報告

(1) 長岡市地域公共交通協議会

, , , , , , ,	6场五六又通 m 	
実施日		内 容
R6. 6. 26	第1回協議会	○令和5年度事業報告及び令和5年度歳入歳出決算報告
		○地域公共交通計画認定申請書
		○長岡市地域公共交通計画の変更
		○地域内生活交通の利用状況
		○店舗を活用したバス待合スペースの検討
		○令和6年度事業内容
R6. 7. 26	書面協議	○令和6年度計画「生活交通改善事業計画(バリアフリー化
		設備等整備事業)」
R6. 9. 27	書面協議	○店舗を活用したバス待合スペースの検討
		○自家用有償旅客運送を活用した事業について
R6. 12. 27	書面協議	○大積地区児童の通学車両に関する路線バス停留所の使用
		について
		○地域公共交通確保維持改善事業の評価について
		○中央環状線「くるりん」及び宮内環状線の変更について
R7. 2. 21	第2回協議会	○山古志地域・太田地区自家用有償旅客運送の更新登録につ
		いて
		○地域公共交通計画認定申請書及び地域公共交通計画の変
		更について
		○令和7年度事業計画(案)について
		○令和7年度歳入歳出予算(案)について
		○運行協力金路線の運行見直しについて
		○自転車ネットワーク計画の評価について
		○長岡市地域公共交通計画の事業実施状況について

(2) 分科会

実施日		内 容
R7. 1. 28	小国地域	○令和5年度及び令和6年度上期の利用状況について
	(書面協議)	○令和7年度事業計画(案)について
		○小国コミュニティバス利用促進に伴う「乗車方法チラシ」
		の作成について
R7. 1. 31	川口地域	○川口地域バスの運行状況について
	(書面協議)	
R7. 2. 10	山古志地域	○令和5年度の運行実績について
		○令和7年度運行内容の変更について
		○自家用有償旅客運送の更新登録について

○3地域合同意見交換会を実施し、課題を共有化(R6.8.28)

(3) 事業の報告

内容
○自転車ネットワーク計画に基づき、ブルーラインを 0.3 k m整備。ま
た、ピクトグラムを 5.3k mの道路延長において整備。
○自転車ネットワーク計画の評価を実施。
○運行協力金路線の見直しを実施(中央環状線「くるりん」の減便、宮
内環状線の路線廃止)。
○越後交通㈱の低床バス導入に係る費用の一部を補助。
○デマンド型乗合タクシー「景虎号」の運行を継続。
○デマンド型乗合タクシー「寺泊まりん号」「わし麻呂号」の運行を継
続。新たに生活交通事業委員会を立ち上げて協議を開始。
○利用促進策を実施(チラシ・ポスターを作成し、施設、店舗へ掲示)。
○上記、和島地域と同じ。
○特定非営利活動法人 MTN サポートが運営を行っている「オーケーバ
ス」(自家用有償旅客運送) 及びデマンド型乗合タクシーの運行継続。
○オーケーバスの利用促進を実施(全戸配布チラシを作成し、配布)。
○バス待合所設置事業を活用し、バス停留所の上屋を整備する団体に対
して、整備費用を補助(押切バス停)。
○特定非営利活動法人くらしサポート越後川口が運営を行っている「黄
色いバス」(自家用有償旅客運送)の運行継続。
○越後川口駅における飯山線活性化協議会マイレール意識醸成事業と
して、ぬり絵企画や幼児向け乗車切符企画を実施。
○特定非営利活動法人中越防災フロンティアが運営を行っている「クロ
ーバーバス」(自家用有償旅客運送)の運行継続。
○クローバーバスの自家用有償旅客運送の更新登録。
○路線バス長岡駅前−飯島−来迎寺線の廃止に伴い、運行協力金路線
「雪ぼたる号」の運行拡大について関係者協議を実施。
〇公共交通に関するアンケートを実施 (全戸配布)

【その他】

- ○店舗を活用したバス待合スペースを確保する「バスまちば」を開始(R6.11~)
- ○宮本コミュニティ推進会が相乗りタクシーを開始(R6.12~)※交通政策室:サポート
- ○新公共交通システム勉強会を2回実施(R6.7.16、R6.10.31)
- ○越後交通㈱が、運転体験会&応募前相談会を実施(R6.11.16) ※市:後援

2. 令和6年度歳入歳出決算報告

(1) 歳入歳出決算書

(会計期間:令和6年4月1日~令和7年3月31日)

① 歳入

(単位:円)

						<u> </u>
款	項	目	予算額	収入済額	増減額	説 明
1 負担金	1 負担金	1 負担金	3,070,000	3,070,000	0	長岡市負担金
2 補助金	1 補助金	1 補助金	7,700,000	9,450,000	1,750,000	国補助金(デマンド) 9,450,000円
3 繰越金	1 繰越金	1 繰越金	0	0	0	
4 諸収入	1 諸収入	1 雑入	0	1,387	1,387	預金利息
	合 計		10,770,000	12,521,387	1,751,387	

2 歳出

(単位:円)

款	項	目	予算額	支出済額	残 額	説 明	
1 運営費	1 会議費	1 会議費	300,000	145,363	154,637	委員報酬 13 お茶代	86,200円 9,163円
	2 事務費	1 事務費	50,000	4,300	45,700	収入印紙代 振込手数料	1,000円 3,300円
2 事業費	1 事業費	1 事業費	2,720,000	2,708,261	11,739		58,261円 D, 000円
3 負担金	1 負担金	1 負担金	7,700,000	9,450,000	▲ 1,750,000		
4 予備費	1 予備費	1 予備費	0	0	0		
	合 計		10,770,000	12,307,924	▲ 1,537,924		

③ 差引残額

(収入済額) (支出済額) (残額)

12,521,387 - 12,307,924 = 213,463 円 ※長岡市へ返納

(2) 会計監査報告

会計監查報告

長岡市地域公共交通協議会規約第7条第3項の規定により、令和6年度の会計を監査した結果、歳入・歳出に関する帳簿並びに証拠書類等は、いずれも適正に処理されていたことを報告します。

令和 7年 4月 28日

長岡市地域公共交通協議会 会 長 太刀川 芳則 様

監査員 山中とめ



監查員 横澤勝之圖

議決事項第2号

地域公共交通計画認定申請書

1 概要

令和2年11月の「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」の改正と併せる形で、地域公共交通計画と補助制度(地域公共交通確保維持改善事業費補助金)の連動化がなされたため、地域間幹線系統(路線バス)及び地域内フィーダー系統(デマンド型乗合タクシー)の運行について、令和7年10月~令和8年9月分までの地域公共交通確保維持事業に係る計画を、締切期日までに、新潟運輸支局へ提出するもの。

なお、記載内容については、今後の手続きにおいて、修正等が生じる可能性あり。

- 2 地域公共交通確保維持事業(地域間幹線系統)資料P6~P37のとおり
- 3 地域公共交通確保維持事業 (地域内フィーダー系統) 資料 P 3 8 ~ P 4 8 のとおり

様式第1-1(日本産業規格A列4番)

地域間幹線系統

 長交協第
 号

 令和
 年
 月
 日

国土交通大臣 殿

氏名又は名称 長岡市地域公共交通協議会 住 所 新潟県長岡市大手通2丁目6番地 代表者氏名 会長 太刀川 芳則

地域公共交通計画認定申請書

地域公共交通計画のうち、地域公共交通確保維持事業に係る計画を別紙のとおり定めたので、関係書類を添えて申請します。

※本申請書に、記載すべき事項を全て記した地域公共交通計画を添付すること。

長岡市地域公共交通協議会

令和

1. 地域公共交通確保維持事業に係る目的・必要性

近年、市内の路線バスは利用者の減少や運転手不足により、路線の廃止や運行本数の 削減などサービスの維持が難しい状況にある。

本市における路線バスは、長岡駅と各周辺地域、長岡市と周辺自治体を結ぶ基幹的な 役割を担うとともに、地域内フィーダー系統との接続などにより自家用車を利用できな い学生や、高齢者の日常生活において利便性の高い、効果的且つ効率的な公共交通ネットワークの確保・維持に極めて重要である。

こうした背景を踏まえたうえで、長岡駅と各周辺地域、長岡市と周辺自治体を結ぶ基幹幹線となる路線バスを確保・維持したい。

2. 地域公共交通確保維持事業の定量的な目標・効果

(1) 事業の目標

長岡市公共交通計画に基づき、目標を設定する(P82~83)

	- IN-C IN-
指標	目標値 令和8年
①市民 1 人あたりの 路線バスの利用回数 【参考】R3:1.3 回/月・人	1.3回/月・人
②収支率(%) 【参考】R3:平均54.0%以上	平均 54.0%以上
③長岡市の財政負担額 【参考】R3:633円/年・人	633 円/年・人

- ※指標①の目標値は、令和3年度の数値をもとに、新型コロナウイルス感染拡大前の状況に戻る ことは極めて難しいと想定し、現状より利用者を減少させないことを目指す。
- ※指標③は、公共交通を維持するため、財政負担の増大の可能性がありますが、現状の財政負担 となるように努める。

(2) 事業の効果

- 持続可能な路線バスの維持・確保
- ・長岡駅と各周辺地域、長岡市と周辺自治体を結ぶ基幹幹線となる路線バスの確保・維持を行うことにより、地域住民等の日常生活に必要不可欠な移動手段が確保される。
- ・域内フィーダー系統とのネットワークが連携することで、効果的、効率的な運行体系が実現できる。さらには、住民の社会参加の促進や外出機会の創出につながり、地域の活性化や健康寿命延伸にもつながる。

3. 2. の目標を達成するために行う事業及びその実施主体

既存ネットワーク(経路、時間)の見直し(自治体、交通事業者)

- ① GTFSデータ整備等による運行情報の見える化(自治体、交通事業者)
- ② 交通ネットワークの利便性向上に向けたICT技術の活用の検討(自治体、交通事業者)
- ③ 高速バスと路線バスを組み合わせた運賃サービス(乗り放題パス)等を企画・実施 (交通事業者)
- ④ 運転体験等のイベントの実施や、運転士の魅力や技術等をSNS等の情報発信ツールを 用いて、運転士の確保を図ります。(自治体、交通事業者)
- ⑤ 長岡市へ転入する方へ公共交通の利用案内やマップを配布し、周知と利用促進を図ります。(自治体)

4. 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統の概要及び 運送予定者

地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱「表1」を添付

【表1の概要】 (単位:千円)

	事業者数	系統数	国庫補助申請額
R8 年度補助 (R7. 10~R8. 9 運行)	2	26	108, 731
R9 年度補助 (R8. 10~R9. 9 運行)	2	26	108, 731

①予定している時刻表・系統図

別紙を添付(系統図)

- ②運行予定者決定の流れ
 - ○県内乗合バス事業者へ本計画に登載を希望する系統について、調査を実施 (新潟県ホームページ及び市町村を通じて周知)
 - ○以下の点から現在運行しているバス事業者を運行事業者に決定
 - ・バス事業者は、一つの事業者が継続して運行することで地域の交通手段を安定的 に確保できるとともに、雇用面も含め地域経済の安定に資すると考えられる
 - ・当該系統を現に運行している事業者は、当該系統の運行に関する知識・経験を有し、地域住民の信頼を得られており、安全・安心な輸送が期待できる
 - ・運行系統の近隣に事業所を有しているため、大雪など不測の事態にも迅速に対応でき、円滑な運行が期待できる
- ③輸送量が15人~150人/日と見込んだ根拠となる算出式

「表1-5」を添付(平均乗車密度算定表)

5. 地域公共交通確保維持事業に要する費用の総額、負担者及びその負担額

地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱「表2」を添付

- 6. 2. の目標・効果の評価手法及び測定方法
 - ・OD調査
 - イベントによるアンケート調査
- 7. 別表1の補助対象事業の基準ホただし書に基づき、協議会が平日1日当たりの 運行回数が3回以上で足りると認めた系統の概要

【地域間幹線系統のみ】

地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱「表3」を添付

8. 別表1の補助対象事業の基準二に基づき、協議会が「広域行政圏の中心市町村に準ずる生活基盤が整備されている」と認めた市町村の一覧

【地域間幹線系統のみ】

該当なし

9. 生産性向上の取組に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその他特記事項

【地域間幹線系統のみ】

「別紙 生産性向上の取組」のとおり

10. 地域公共交通確保維持改善事業を行う地域の概要

【地域内フィーダー系統のみ】

該当なし

11. 車両の取得に係る目的・必要性

【車両減価償却費等国庫補助金・公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けよ うとする場合のみ】

該当なし

12. 車両の取得に係る定量的な目標・効果

【車両減価償却費等国庫補助金・公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けよ うとする場合のみ】

(1) 事業の目標

該当なし

(2) 事業の効果

13 車両の取得計画の概要及び車両の取得を行う事業者又は地方公共団体、要する費用の総額、負担者とその負担額<u>【車両減価償却費等国庫補助金・公有民営方式</u> 車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】

該当なし

14. 老朽更新の代替による費用の削減等による地域公共交通確保維持事業における 収支の改善に係る計画(車両の代替による費用削減等の内容、代替車両を活用した利用促進策)

【公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】

該当なし

15. 貨客混載の導入に係る目的・必要性

【貨客混載導入経費国庫補助金を受けようとする場合のみ】

該当なし

16. 貨客混載の導入に係る定量的な目標・効果

【貨客混載導入経費国庫補助金を受けようとする場合のみ】

(1) 事業の目標

該当なし

(2) 事業の効果

17. 貨客混載の導入に係る計画の概要、要する費用の総額、内訳、負担者及び負担額【貨客混載導入経費国庫補助金を受けようとする場合のみ】

該当なし

18. 協議会の開催状況と主な議論

- ○令和3年6月29日
 - ・和島地域における乗合タクシー本格運行について
 - ・地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金」計画書について
 - ・一般旅客自動車運送事業用自動車等の停留所等への駐停車について
- ○令和3年10月6日(書面開催)
 - ・地域公共交通計画策定のアンケート調査について
 - ・交通事業者ヒアリング調査について
- ○令和4年2月22日(書面開催)
 - ・古志地域・太田地区自家用有償旅客運送の更新登録について
 - ・運行協力金路線の運行見直しについて
 - ・ 令和 4 年度「地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金」計画書変更について
 - ・長岡市総合交通戦略の期間延長について
- ○令和4年6月24日
 - ・和島・寺泊地域におけるデマンド型乗合タクシーについて
 - ・「地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金」計画書について
- ○令和4年8月24日
 - ・長岡市地域公共交通計画策定について
- ○令和4年10月21日
 - 長岡市地域公共交通計画策定について
- ○令和4年11月22日
 - ・長岡市地域公共交通計画策定について
- ○令和5年2月22日
 - ・小国地域自家用有償運送の更新登録について
 - 一般旅客自動車運送事業用自動車等の停留所等への駐停車について
 - ・長岡市地域公共交通計画策定について
- ○令和5年6月14日
 - ・栃尾地域におけるデマンド型乗合タクシーの運行
 - ・「地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金」計画書
- ○令和6年2月26日
 - ・川口地域自家用有償旅客運送の更新登録及び変更登録について
 - ・長岡市地域公共交通協議会規約の改正について
- ○令和6年6月26日
 - · 地域公共交通計画認定申請書
 - 長岡市地域公共交通計画の変更
- ○令和7年2月21日
 - ・地域公共交通計画認定申請書及び地域公共交通計画の変更

19. 利用者等の意見の反映状況

協議会の構成員には公共交通利用者も含まれ、協議会のでの意見を参考に計画している。

【本計画に関する担当者・連絡先】

(住 所)	新潟県長岡市大手通2丁目6番地
	フェニックス大手イースト 8 F
(所属)	長岡市都市整備部都市政策課
	交通政策室
(氏 名)	大倉 知佳子
(電話)	0258-39-2267
(e-mail)	koutuu@city.nagaoka.lg.jp

注意: 本様式はあくまで参考であり、補助要綱の要件を満たすものであれば、この様式によらなくても差し支えありません。

実際の計画作成に当たっては補助要綱等を踏まえて作成をお願いいたします。

各記載項目について、地域公共交通利便増進実施計画及び地域旅客運送サービス継続実施計画を作成している場合には、当該計画から該当部分を転記したり、別添〇〇計画△節のとおり、等として引用したりすることも可能です。(ただし、上記2.・3.については、地域公共交通利便増進実施計画及び地域旅客運送サービス継続実施計画に定める目標、当該目標を達成するために行う事業及びその実施主体に関する事項との整合性を図るようにして下さい。また、地域公共交通計画全体として、協議会における協議が整った上で提出される必要があります)。

※該当のない項目は削除せず、「該当なし」と記載して下さい。

都道府県 (市区町村)	運行予定者名	運行系統名 (申請番号)	確保維持事業に要する国 庫補助額 (千円)	特例措置
新潟県	越後交通株式会社	(E1) 長岡~三条	2,984.5	
(長岡市)		(E2) 長岡~分水	6,738.0	
		(E3) 長岡~今町	2,238.5	
		(E4) (急行)長岡~栃尾①	3,198.5	
		(E5) (急行)長岡~栃尾②	5,516.5	
		(E6) (快速)長岡~栃尾①	2,488.0	
		(E7) (快速)長岡~栃尾②	1,826.0	
		(E8) 長岡~見附①	5,854.0	
		(E9) 長岡~見附②	2,017.0	
		(E10) 長岡~寺泊	10,433.0	
		(E11) 長岡~小島谷	5,117.0	
		(E12) 長岡~与板①	3,914.0	
		(E13) 長岡~十日町	4,775.0	
		(E14) 長岡~小千谷①	2,341.5	
		(E15) 長岡~小千谷②	7,303.0	
		(E16) 長岡~小千谷③	2,749.5	
		(E17) 長岡~出雲崎	4,189.5	
		(E18) 長岡~与板②	3,508.5	
		(E19) 長岡~柏崎①	5,016.0	
		(E20) 長岡~柏崎②	5,842.0	
		(E21) 長岡~与板③	3,744.5	
		(E22) 長岡~宮沢	2,055.5	
		(E23) 長岡~小国	10,493.5	
		(E26) 小千谷~小国	1,717.5	
		(E28) 長岡~蓮花寺	2,113.0	
	事業者計	25系統	108,174	
	南越後観光バス株式会社	(ME5) 小千谷~小出	557.0	
	事業者計	1系統	557	
	合	<u></u>	108,731	

⁽注)

^{7.1.} 本表に記載する運行予定系統を示した地図(運行予定系統が熊本地震被災市町村における応急仮設住宅の1キロメートル以内を経由することを図示したものを含む)を添付すること。 2. 「特例措置」には、地域公共交通利便増進実施計画の認定を受け、地域間幹線系統に係る特例措置の適用を受ける場合には「1」を、平成29年8月2日改正附則第2条の規定に該当する場合には「2」を、補助金交付要綱別表2 5. ただし書きに該当する場合には「3」を記載する。

^{3.} 補助対象期間の計画と比較し、翌年度及び翌々年度の計画が同じ若しくは曜日の違いによる運行回数以外に変更がない場合については、その旨を記載することで足りるものとする。 (記載例「令和〇年度、令和〇年度については、令和〇年度事業から 土日・祝日の日数による運行回数等の違いを除き、変更がないため省略」)

表2 地域公共交通確保維持事業に要する費用の総額、負担者及びその負担額(地域間幹線系統用)

事業者名 越後交通株式会社 令和8年度 ※令和7年度、令和8年度については、令和6年度事業から 土日・祝日の日数による運行回数等の違いを除き、変更がないため省略

1. 申請事業者の概要

(1)基準期間: R6年度実績(R5.10.1~R6.9.30)

	(1/									
	補助対象期間の 前々年度(基準期間 [※])の 損益状況	乗合バス事業								
		営業収益		997,486 千円	営業外収益	7,435 千円	経常収益(イ)	1,004,921 千円		
		営業費用		1,816,264 千円	営業外費用	12,669 千円	経常費用(口)	1,828,933 千円		
	JC U 170	営業損益		▲ 818,778 千円	営業外損益	▲ 5,234 千円	経常損益	▲ 824,012 千円		
	補助対象期間の		km				経常収支率	54.94 %		
	前々年度の 実車走行キロ(ハ)	4,858,308.4						=		

(2)基準期間の前年度: R5年度実績(R4.10.1~R5.9.30)

基準期間の前年度の 損益状況	乗合バス事業							
	営業収益		985,300 千円	営業外収益	4,930 千円	経常収益(イ)	990,230 千円	
	営業費用		1,773,746 千円	営業外費用	14,752 千円	経常費用(口)	1,788,498 千円	
	営業損益		▲ 788,446 千円	営業外損益	▲ 9,822 千円	経常損益	▲ 798,268 千円	
基準期間の前年度の		km				経常収支率	55.36 %	
実車走行キロ(ハ')	5,111,344.8				•		-	

(3)基準期間の前々年度: R4年度実績(R3.10.1~R4.9.30)

(3) 基準期间の削べ年度	(3) 基準期间の削べ年度: R4年度美額(R3.10.1~R4.9.30)								
	乗合バス事業								
基準期間の前々年度の	営業収益		939,312 千円	営業外収益	12,838 千円	経常収益(イ)	952,150 千円		
損益状況	営業費用		1,818,064 千円	営業外費用	16,525 千円	経常費用(口)	1,834,589 千円		
	営業損益		▲ 878,752 千円	営業外損益	▲ 3,687 千円	経常損益	▲ 882,439 千円		
基準期間の前々年度の		km				経常収支率	51.89 %		
実車走行キロ(ハ")	5,434,898.8								

(補助対象事業者の「基準期間[※]を最終年度とする連続した過去3年間」における実車走行キロ当たり経常費用等)

	(開始的第三人称) 至于初的		「ダイベットで」「こうと」	
		補助対象事業者の実車走	補助対象事業者の実車走行キ	補助対象事業者の実車走行キ
	補助ブロック名	行キロ当たり経常費用	口当たり経常費用	口当たり経常費用
	補助プロック石	(基準期間の前々年度)	(基準期間の前年度)	(基準期間)
		ロ"÷ハ"= a	ロ'÷ハ'= b	ロ÷ハ=c
	羽越	337円.55銭	349円.90銭	376円.45銭
ı				

^{※「}基準期間」とは、補助対象期間の前々年度の補助対象期間をいう。

2. キロ当たり補助対象経常費用及び収益

<u> 2. イロヨたり補助対象社</u>	・市負用及び収益			
補助ブロック名	補助対象事業者の実車 走行キロ当たり経常費用 (a+b+c)/3 = 二	地域キロ当たり 標準経常費用 ホ	キロ当たり経常費用 ニとホのいずれか少ない額 へ	キロ当たり経常収益 イ÷ハ=ト
羽越	354円63銭	394円29銭	354円63銭	206円84銭

全体キロに対する市町村内のキロ	12.70	(2)		12.70	4 4	4		17.70	0 00	11.20	-101			25.10				1 თ	13.00	4		14.20		9.4	18.80	00	18.10						0	17.60
	往便	往	復	任復	往勿	8 往:	馊往	徴 ‡	仕飯	往勿	改往	し	仕徳	往	復仕	上飯	# 1	议往	復仕	一飯	#	復往	一飯	# 1	馊往	飽	往復	(#	復仕	上飯	# 1	馊往	剱:	任復
合うの試号 計一申書	EI	F2		E3	E4	E5	Eß	3	E7	E8	F9	3	E10	E11	.	E12	E13		±	E15	E16		E17	E18		E19	E20	F21	i	E22	E23	E26	E20	E28

条件キロ器 地域公社交通編集を発 (全体キロ) 指する回線におけら年口器 キャカー オーチャル オーチャル オーチャル (20年) (20年)	m 6 3 4 4 3 3	度 (2) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	語 () () () () () () () () () (計画銀行回数 計画現場 計画銀 ()	中国銀行目 中国銀行回映 中国銀行 中国銀行 中国 中国 中国 中国 中国 中国 中国 中		計画報行目 計画銀行服 計画銀行服 計画銀度機 計画銀度 計画 計画 計画 計画 計画 計画 計画 計	# 計画所		#
# 28.7km	ě e			(4.2) (1975.5 (2) (1975.5 (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2)	07x2-ph 07x2-ph 0.0-7x2-ph 0.0-7	第三条形形 365 日 1578 5 回 1578 5 回 1578 5 回 1578 5 回 14.43 5 回 14	(1) = 77-27月 (2) (2) = 27-27月 (2) (4.4.2) (4.4	第四流 第三条形的 365 日 1275.5 回 1275.5 回 (4.2) 回		長周一三条
_		4 2 <u>9</u> <u>9</u> <u>9</u> <u>9</u> <u>9</u> <u>9</u> <u>9</u> <u>9</u> <u>9</u>		1578.5 B 44.3) B 44.4) B 44.4) B 44.6) A 44.6) B 44.6) 44.6) B 44.6)	1578 5 1	1578 5 回 1578 5	新田道 第三条経路 365 日 (4.2) 日	新国流 東三条形的 365 日 (423)	英国服務 新田道 単三条股前 365 日 1578.5 回 美国股務 新見 分本股前 365 日 1221.0 回 (念行) 國國股間末 総需業庫前 365 日 1221.0 回 (念行) 國國股間末 総需業庫前 365 日 1221.0 回 (念行) 國國股間末 総需業庫前 365 日 1221.0 回 (会別) 國國股間末 総需業庫前 365 日 1221.0 回 (会別、周囲限 総報事庫前 365 日 1221.5 回 (会別、周囲展 東バイバス・衛部職業庫前 365 日 1221.5 回 長国股前 事地・海瀬 上原所事庫前 365 日 1225.5 回 長国股前 海地・海 与板管報等前 365 日 1277.5 回 長国股前 海地・海 与板管報等 365 日 (20.0) 回 美国股前 赤地・海 場計 365 日 (20.0) 回 美国股前 赤地・上部・上日半日平町車 365 日 (20.0) 回 美国股前 赤米・上日十日十日平町車 365 日 (20.0) 回 美国股前 <td< th=""><th># 周 - 三米 表面影響 解回道 第三条影響 365 日 1578.5 回 1578.5 回 4500</th></td<>	# 周 - 三米 表面影響 解回道 第三条影響 365 日 1578.5 回 1578.5 回 4500
復 28.7km				(46) (1875 (1870) (1870	1 1687 5 1687 5 1687 5 1687 5 1648 0 1422 1 0 1648 0 1440 0 1648 0 1440 0 1648 0 1440 0 1648 0 1648 0 1648 0 1648 0 1648 0 1648 0 1648 0 1648 0 1648 0 1648 0 1648 0 1648 0 1648 0 1649	分类接触 365 16875 16875 16875 16875 12210		現野 分水形解 365 日 (465 回 1667.5 回 1667.5 回 1667.5 回 1667.5 回 1667.5 回 1660.0 □ 16		
往 27.9km 復 28.1km 28.0km				(40) (121) (131) (140) (365 B 12210 365 B 4405 365 B 24175 365 B 24175 365 B 24175 365 B 2225 365 B	1210 1210	R		本田原語 高見 4月7日 365 1221.0 (23.2) (23.2) (440.0 (24.2) (長田一寺町 長田原前 高見 寺町5丁目 305 日 12210
往 15.5km (独 15.8km 15.6km				(40) (40) (40) (40) (40) (40) (40) (40)	365 1460 0 1460 0 1460 0 1460 0 1400	総需集庫的 365 日 4450 (40) 総需集庫的 365 日 2475 (66) 総需集庫的 365 日 1204 (32) 上足附業庫的 365 日 1204 (40) 上足附業庫的 365 日 1204 4 小島金製物 365 日 1204 5 小島金製物 365 日 1204 (60) 5 小島金製物 365 日 1204 (60) 6 小島金製物 365 日 1205 6 小島金製物 365 日 1205 (60)		1460 日	(金行) 無回解 開東、報席、組成業事業 385 日 (460 (460 (460 (460 (460 (460 (460 (460	(金元) (金行) (金行) 福岡県 (高東・
				(68) (1204 0) (1204 0) (1305 0) (1307 0) (1307 0) (1307 0) (1307 0) (1307 0) (1307 0) (1308 0) (1309 0) (1309 0) (1309 0) (1309 0) (1309 0) (1309 0) (1309 0) (1309 0) (1309 0) (1309 0) (1309 0) (1309 0) (1309 0) (1309 0)	365 1204.0 (6.6) (6.6) (6.6) (6.6) (3.2) (3.2) (3.2) (3.6)	54175 10040 10	日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本	24175 1204	(金元) 無回限 百元・他所	(他行) (他行) (他行) 原国限(百年,他研
性 25.7km 隻 25.7km 25.7km				(32) (32) (32) (33) (34) (35) (36) (37) (37) (37) (37) (37) (37) (37) (37	100 100		1904 1904 1904 1904 1904 1904 1904 1905 1904 1905	1204 0 1204 0 1204 0 1204 0 1204 0 1204 0 1202 5	(特殊) 原則形 解析・治内 解析無解解 385 目 1204 0 (32) (32) (422 5 日 1222 5 日 12	(快速) (快速) 原国駅 新催・合力 保険事業的 365 日 1204 0 (23.2) (42.2) 原国駅 東イイイス・郵 防能事業的 365 日 1222 5 長田一島第2 (42.2) 新田 東北 イイイス・郵 防能事業的 365 日 1222 5 長田 上原株 事業的 365 日 1204 0 長田 一島株2 長田野第二 新生田 上原株事業的 365 日 1204 0 (43.2) 長田 小島 各田野第二 新生田 上原株事業的 365 日 1204 (43.2) 長田 小島 長田野新 春田 大原 長井町 365 日 1275 5 長田 一寺 6 長田 新年 4 代表 7 代表 7 代表 6 紀 5 日 1275 5 長田 一寺 6 佐田 前下・成尺・与 八巻 6 昭 3 10 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11
(生 17.7km (女 17.7km 17.7km		1 1 1 1 1		(38) 1752 8 180	365 1322.5 1322.5 1322.5 1322.5 1322.5 1322.5 1222	- 特別原本(条約) 365 日 1322.5 上見所第46例 365 日 227.5 上見所第46例 365 日 1204.0 54.45.95.86前 365 日 127.5 54.46.35.86前 365 日 127.5 54.46.35.86前 365 日 127.5 6.00) 4.00.5	1325 1325	1922 5 1922 5	(中級) 原岡町 (第7 ペイパス・耐 (海底 単	(快速)
_		1 1 1 1		3275.5 (8.9) (1204.0 (2.0) (6.0) (127.5 (12	100 100	上足所能解解 365 日 2275 5 (89) 上足所能解解 365 日 1204 0 (22) 54 小瓶砂脂醇 365 日 1275 5 (60) 与小瓶砂脂醇 365 日 1277 5 (32)	新年通勤 上見解單條約 366 日 3275 8 89 9 80 8	1981-1983 上見附等課務 385 1274.5 1274.5 1274.5 1274.5 1274.5 1274.5 1274.5 1274.5 1274.5 1274.5 1277.5		長田一見解(2) 長田野東口 新町・浦瀬 上見附等庫割 366 日 (8.9) 長田 1.20.0 (8.9) 1
住 17.6km 包 17.6km 17.6km				1204.0 (3.2) (3.2) (6.0) (6.0) (6.0) (6.0) (6.0) (6.0) (6.0) (6.0) (6.0) (6.0) (6.0) (6.0) (6.0) (6.0) (6.0) (6.0)	365 1204.0 365 2225.5 365 1277.5 365 1277.5 (3.5) 2 180 2 180 2 180 2 180 3 180	上見時編集解 365 日 1294 0 (3.2) 版井町 365 日 2255 5 (4.0) 与小衛会影響 365 日 1277 3 (3.5) 与标题影響網 183 日 2199 0 (6.0)	原生田 上見解単編 365 日 1204 0 (3.2) 李 454 5 4 5 4 5 4 5 4 5 4 5 4 5 4 5 4 5	原生田 上見所事保験 365 1204 (3.2) (3.2) (4.0)		展開一見解2 長間脱銅口 原生田 上見解単解的 505 日 1204 0 (3.2)
往 16.8km 包 17.0km 16.9km				2225.5 (6.0) 1277.5 (3.5) 12190.0 (6.0) 12190.5 (6.0) (6.0) (6.0) (6.0)	365 H (2.05) 365 H (2.77.5) 365 H (3.5) 183 H (6.0) 365 H (5.90.6)	振井町 365 日 2225.5 (6.0) 与小島の駅前 365 日 1277.5 (3.5) 与根部影響前 183 日 2190.0	本統 坂井町 365 日 2225.5 (成沢・与小独谷駅輪 385 日 1277.5 与大統領 183 日 130.0 本代第解幕前 183 日 189.0	春後・今後 振井町 365 日 2225.5 横下・成尺・今・8898 第 365 日 1277.5 春藤 与後間報書間 183 日 2190.0 小子谷・十日 4日町 新田町 385 日 2190.5	長回原師 幸越-与板 抵井町 365 日 2255.5 長回原師 補下-成次-身-小像総原師 365 日 1277.5 長回原師 幸越 与核管脈帯 183 日 2190.0 長回原師 小子谷-十日首十日町単雄館 385 日 2190.5	表面・参泊 長国原籍 幸越・与振 抜井町 365 日 2225.5 (6.0) 表面・小島心 長国原籍 油下・成沢・与小島心服制 385 日 1277.5 第四・小島心 長国原語 油下・成沢・与小島心服制 385 日 1277.5
往 35.2km 復 35.2km		1		H (3.5) (3.5) (6.0) H (5.90.5 H (5.9) (5.9)	365 H (3.5) 183 H (6.0) 365 H 2180.5 (6.0) (5.9)	- 与小島谷駅前 365 日 1277.5 - 与松繁聚春前 183 日 2190.0 (60)	成沢・与小島谷駅前 365 日 1277.5 (3.5) 与板階聚番前 183 日 2190.0	編下・成尺・与・小衛会を解析 2065 日 1277.5 寿峰 与核酸解解解 183 日 2190.0 小子谷・十日 4日 18 18 日 2190.0	美国限制 議下・成沢・与小島谷駅前 366 日 1277.5 美国限制 幸嶋 子板管影響前 183 日 2180.0 美国限制 小子谷・十日半十日町東北側 366 日 2180.5 美国限制 小子谷・十日十日町東北側 366 日 2180.5	長国~小島谷 長国駅前 指下・成沢・与小島谷駅前 365 日 1277.5 (3.5)
				2190.0 (6.0) B 2180.5 (5.9)	183 H 2190.0 (6.0) 365 H 2180.5 (5.9)	183 El 2190.0 (6.0)	与板警察署前 183 日 2190.0	李島 与板管緊害前 183 日 2190.0 小千谷・十日第十日町車庫前 365 日 2190.5	長田原前 幸趣 今板架架橋前 183 日 2180.0 (6.0) 長国原前 小干谷・十日第十日計算課前 385 日 2180.5 (5.9)	0.0016
任 16.8km 貸 16.8km 16.8km				2180.5 (5.9)	365 H 2180.5 (5.9)		(00)	小千谷・十日青十日町車庫前 365 日 2180.5	長岡駅前 小千谷・十日書十日計事庫前 365 日 (59) (59)	李越 与板警察署前 183 日 2150.00 (6.0)
往 49.1km 隻 49.1km 49.1km						十日町車庫前 365 日 2180.5 (5.9)	+日間十日町車庫町 365 日 2180.5 (5.9)		19040	小千谷·十日日十日日本庫前 365 日 2180.5 (5.9)
往 20.0km 復 20.0km 20.0km	4.9 15.6人		4.0 E	1204.0 (3.2)	365 B 1204.0 (3.2)	1204.0 (3.2)	365 B 1204.0 (3.2)	長岡駅前 新国道 ホ干谷インター 365 日 1204.0 (3.2)	長岡駅前 新国道 小干谷インター 365 日 1204.0	新国道 ホ干谷インター 365 日 1204.0 (3.2)
	6.1 53.0人	1	2.0	B 3202.0 B (8.7)	365 H 3202.0 (8.7)	小千谷車庫前 365 日 3202.0 (8.7)	片貝·小栗田 小干谷車庫前 365 日 (8.7)	(急行)疊岡駅 片貝・小栗田 小干谷車庫前 365 日 (87)	(急行)疊岡駅 片貝・小栗田 小干谷車庫前 365 日 (87)	片貝·小栗田 小干谷車庫前 365 日 (8.7)
	5.1 16.8人		3.5	H 1213.5 (3.3)	365 B 1213.5 (3.3)	小千谷車庫前 365 日 (3.3)	1213.5 片貝・坪野 小千谷車庫前 365 日 (3.3)	(急行)疊岡駅 片貝・坪野 小干谷車庫前 365 日 (3.3)	(急行)疊岡駅 片貝・坪野 小干谷車庫前 365 日 (3.3)	1213.5 片貝・坪野 小千谷車庫前 365 日 (3.3)
往 25.0km	3.9 24.1人		0.0 0	B 2299.0 (6.2)	365 H 2299.0 (6.2)	B 2299.0 (6.2)	出雲崎東庫前 365 日 2299.0 (6.2)	中月出雲崎車庫削 365 日 (6.2)	- 長岡駅前 日赤崎陵・中月出雲崎車庫前 365 日 (6.2)	日赤病院·中月出雲崎車庫削 365 日 (6.2)
在 19.4km 復 19.4km 19.4km	5.4 16.7人		0.5	H (3.1)	365 El (3.1)	1149.5 日 1149.5 日 (3.1)	365 El (3.1)	1149.5 日 1149.5 日 (3.1)	- 長田県前 三ツ總匯・河本与板階聚雑前 365 日 (3.1) (3.1)	1149.5 1149.5
	5.9 27.1人		0.7	H (4.6)	365 H (4.6)	H (4.6)	365 H (4.6)	柏崎駅前 365 日 (4.6)	長岡駅前 曾地 柏崎駅前 365 B (4.6)	曾地 柏崎駅前 365 日 1697.0 (4.6)
在 38.6km	5.2 29.1人		2.0	B 2062.0 (5.6)	365 H 2062.0 (5.6)	B 2062.0 (5.6)	365 H 2062.0 (5.6)	柏崎駅前 365 日 2062.0 (5.6)	長田駅前 西山 柏崎駅前 365 日 2062.0	西山 柏崎駅前 365 日 2062.0 (5.6)
住 21.3km 復 21.3km 21.3km	4.7 17.3.A.	İ	6.5	1386.5 (3.7)	365 H 1386.5 (3.7)	与板警察署前 365 日 1386.5 (3.7)	365 H 1386.5 (3.7)	三文路 与板警察署前 365 日 (3.7)	長岡駅前 関原三叉路 与板警察署前 365 日 1386.5 (3.7)	関原三叉路 与板警察署前 365 日 1386.5 (3.7)
往 15.2km 復 15.2km 15.2km	4.8 19.6人	1	4.5	1514.5 (4.1)	1514.5	富沢 365 H 1514.5 (4.1)	365 H 1514.5 (4.1)	富沢 365 H 1514.5 (4.1)	長岡駅前 関原三叉路 宮沢 365 日 (4.1)	関原三叉路 宮沢 365 日 (4.1)
往 30.0km 復 30.0km 30.0km	4.8 31.6人	1	7.5	2417.5 B (6.6)	11 365 H 2417.5 (6.6)	365 H 2417.5 (6.6)	11 365 H 2417.5 (6.6)	小国車庫前 365 日 (6.6)	長岡駅前 川東 小国車庫前 365 日 2417.5 (66)	川東 小国車庫制 365 日 2417.5
往 19.4km 復 20.0km 19.7km	4.9 15.1人		e (1149.5 (3.1)	前 365 目 (3.1)	365 H (3.1)	七日町 小国車庫前 365 日 (3.1)	小国車庫前 365 日 1149.5 (3.1)	小千谷草康納 七日町 小国草康納 365 日 1149.5 (3.1)	(廉前 七日町 小国車庫前 365 日 (3.1)
(生 17.6km (生 17.6km 17.6km	3.5 11.5人		3.5	H 1213.5 (3.3)	1213.5	H 1213.5 (3.3)	365 H 1213.5 (3.3)	運花寺 365 日 1213.5 (3.3)	長岡駅前 中永 連花寺 365 日 1213.5 (33) (33)	中永 議花寺 365 日 1213.5
往615.1km 指616.9km 615.6km									25系統	25系統

		雑酢プロックが、	-												Г	補助对象程常		タマはしのうちい
		乗入部分及び回 一補助プロック は対抗にはある	計画実準走行	辅助対象 指数対費用					補助対象系	補助対象系統のキロ当たり経常収益	圣常収益				経常収益 の見込額	製用かる数形 受益を数整した 盤	作助対象程度 の限度額	ずれか少ないほう の額
	#8	都温作業外業人 部分以外のキロ 程の比率				新雅·	基準期間の前々年度		報	基準期間の前年度			銀際素業					
1480 200 148 148	F 梅 星 巾 径 粧 網	(\$\frac{4}{7} - (1 + \times) + \frac{7}{7} = \frac{7}{7}	D	く (機:力 (機:力	(d+e+f)/3 = /	経常収益 ヤ"	実車 走行 キロ マ"	補助対象系 統の実準走 行キロ当たり 経常収益 ヤ"・・マ" = d	経常収益や'	実 まロ マ'	補助対象系 統の実車走 行キロ当たり 経常収益 ヤ'・マ'ー®	経常収益や	実事走行 キロママ	補助対象系 統の実革走 行キロ当たり 経常収益 ヤ・マ=f	/×ワ以上の額: ョ	カーヨータ	カ×9/20=レ	>
38 El		44.250%	90,870.4km	32,225,369 FI	174円.52銭	16,670,811 円	94,494.8 km	176円.42銭	15,346,772 FB	94,089.6 km	163円.10銭	17,117,961 FB	92,998.4 km	184円.06銭	15,858,702 円	16,366,667 円	14,501,416 FB	14,501,416 FB
羽麟	E3	%0000%	93,830.7km	33,275,181 FB	183円.72銭	18,763,197 円	97,080.5 km	193円.27銭	16,135,880 FB	93,068.4 km	173円.37銭	17,308,363 FB	93,797.4 km	184円.52銭	17,238,576 円	16,036,605 円	14,973,831 円	14,973,831 FB
羽麟	8	81.410%	37,962.0km	13,462,464 円	195円.26銭	5,863,672 円	36,907.9 km	158円.87銭	7,721,728 円	35,458.9 km	217円.76銭	7,727,006 FB	36,944.3 km	209円.15銭	7,412,460円	6,050,004 円	6,058,108 FB	6,050,004 円
3個 巨	E4	56.538%	75,920.0km	26,923,509 円	205円:59銭	19,395,240 円	105,205.8 km	184円.35銭	22,154,419 FB	106,1382 km	208円.73銭	22,439,239 FB	100,310.7 km	223円.69銭	15,608,392 円	11,315,117 FB	12,115,579 円	H,315,117 FF
類別	E2	55.642%	124,259.5km	44,066,146 円	169円.43銭	20,844,862 FB	144,048.5 km	144円.70銭	21,552,786 FB	128,808,4 km	167円.32銭	24,086,982 FB	122,717.5 km	196円.27銭	21,053287円	23,012,859 円	19,829,765 円	19,829,765 円
別 別 別 日 に	E6	100.000%	42,621.6km	15,114,898 円	237円.88銭	13,407,851 FB	56,752.8 km	236円.25銭	13,722,900 FB	56,3072 km	243円.71銭	12,986,142 円	55,569.6 km	\$\$69.HEE2	日928881,01	4,976,072 FB	6,801,704 FB	4,976,072 FF
類際	E7	100.000%	48,139.0km	17,071,533 FB	278円.76銭	19,873,698 FB	65,611.0 km	302円:90銭	19,041,384 FJ	65,150,8 km	292円.26銭	15,057,201 FB	62,444.2 km	241円.13銭	13,419227 円	3,652,306 FB	7,682,189 FB	3,652,306 FB
類解	88	63.636%	115,297.6km	40,887,987 FF	194円.94銭	18,460,521 FB	116,8992 km	157円.91銭	19,053,362 FB	100,9 25.7 km	188円.78銭	19214,167 円	80,678.4 km	238円.15銭	22,476,114円	18,411,873 FB	18,399,594 FB	18,399,594 円
類際	63	62.130%	40,695.2km	14,431,738 FB	190円.38銭	7,439,905 FB	39,526.4 km	188円.22銭	7,969,680 FB	45248.8 km	176円:13銭	9,616,516 PS	46,497.4 km	206FJ.81SE	7,747,552 円	6,684,186 FB	6,494,282 FB	6,494,282 FB
3個 E1	E10	100.000%	156,904.1km	55,642,900 円	145円.85銭	24,501,879 FB	196,047,4 km	124円.97銭	29,575,340 FB	208,689,6 km	141円.71銭	48,717,080 FB	285,104.7 km	170円.87銭	22,884,462 FB	32,758,438 FB	25,039,305 FB	25,039,305 FR
羽越 E1	E11	100.000%	64,130.5km	22,742,599 円	第25.円87.1	10,182,641 FB	md E.828.58	159円.52銭	10,992,246 FB	63,403,0 km	173円.37銭	12,589,754 FB	64,005.0 km	\$\$69'H961	H1,320,315 FB	11,422284円	10,234,169 FB	10,234,169 FB
羽越 E1	E12	100.000%	73,584.0km	26,095,093 円	146円.40銭	2,258,284 FB	12,045.6 km	187円.47銭	1,339,767 FB	11,9952 km	111円.69銭	1,679,904 FB	11,995.2 km	140円.04銭	円 16,277,01	15,322,396 円	11,742,791円	11,742,791 FB
羽越 (E1	(E13)	28.513%	209,897.8km	74,436,056 円	131円.56銭	29,318,679 円	280,145.1 km	104円.65銭	42,184,982 FB	277,811.8 km	151円.84銭	38,650,489 FB	279,663.6 km	138円.20銭	27,614,154円	46,821,902 円	33,496,225 円	33,496,225 円
類	E14	65.000%	48,160.0km	17,078,980 FB	188円26銭	13,488,308 FB	69,700.0 km	193円.51銭	10,749,491 FB	61,880,0 km	173円.71銭	10712501 FB	54,220.0 km	197円.57銭	9,066,601 FB	8,012,379 円	7,685,541 円	7,685,541 FB
38 E1	E15	55.252%	165,655.5km	58,746,409 FB	3815.円271	27,718,637 FB	mal 0.188,881	138円.59銭	34,530,371 FB	194,571.3 km	177円.46銭	37203,961 FB	184,641.0 km	201円.49銭	日 052772,82	30,169,179 円	26,435,884 FF	26,435,884 FF
超級	E16	53.383%	64,558.2km	22,894,274 円	157円.05銭	10,687,964 円	77,352.8 km	138円.17銭	12,200,883 FB	73,186.1 km	166円.71銭	11,522,670 FB	69,293.0 km	166円.28銭	10,138,865 FB	12,755,409 円	10,302,423 円	10,302,423 円
羽越 E1	E17	71.084%	114,490.2km	40,601,659 FB	第02円291	17,327,005 FB	mal 8,670,711	147円.99銭	21,028,680 FB	113,369,4 km	185FJ.48\$	17,509,629 円	114,340,4 km	38€1.⊞€81	H 01 E/078,81	22,031,349 円	18,270,746 FB	18,270,746 円
羽越 E1	E18	100.000%	44,600.6km	15,816,710 円	197円:30億	6,995,482 ⊞	44,445.4 km	157円.39銭	9,049,859 FB	43,902.2 km	206円.13銭	10,147,008 FB	44,426.0 km	228FJ.40\$	H 869'66L'8	7,017,012 円	7,117,519 円	7,017,012 円
超級	E19	52.222%	120,382.7km	42,691,316 FB	172円.84銭	24,142,008 円	176,976.9 km	136円.41銭	28.326.003 FB	153,499.9 km	184円.53銭	26480,091 FB	134,009.8 km	197円.59銭	20,806,945 FB	21,884,371 円	19,211,092 円	19,211,092円
羽越 E20	20	46.891%	156,141.8km	55,372,566 円	141円,40銭	15,672,737 円	177,877.8 km	88円.10銭	29.964,568 FB	1712075 km	175円.01銭	27244,085 FB	169,106.9 km	161円.10銭	22.078.450 円	33,294,116 円	24,917,654 円	24,917,654 円
羽越 E21	21	100.000%	59,064.9km	20,946,185 FB	198円.24銭	12,059,160 円	59,150.1 km	203円.87銭	11,611,156 FB	58,753,1 km	197円.62銭	11,450,247 FB	59,256.6 km	193円.23銭	11.709.025 円	9,237,160 円	9,425,783 円	9,237,160 円
羽峰 E2	E22	100.000%	45,121.7km	16,001,508 FB	230円:10銭	17,396,823 円	70,393.4 km	247円.13銭	14,338,643 FB	65,391.4 km	219円27銭	12362.443 FB	55,213.6 km	223円.90銭	10,382,503 FB	5,619,005 円	7,200,678 円	5,619,005 円
羽峰 E2	E23	100.000%	144,663.2km	51,301,910 FB	144円20銭	17,049,363 円	154,9312 km	110円.04銭	22.125.123 FB	147,117.0 km	150円.39銭	24862.248 FB	144,395.2 km	172円.18銭	20,860,433 FB	30,441,477 円	23,085,859 円	23,085,859 円
羽峰 (E2	(E26)	49.238%	45,180.8km	16,022,467 円	147円.70銭	4,776,412 円	52,402.0 km	91円.14銭	8,578,987 円	47,993.4 km	178円.75銭	7,837,029 FB	45,240.8 km	173円.22銭	6,673,204 円	9,349,263 円	7,210,110円	7,210,110円
羽峰 E2	E28	100.000%	43,699.3km	15,497,082 円	180円.83銭	8,803,264 円	46,664.7 km	188円.64銭	8,817,108円	44,747.9 km	197円.03銭	6,805,069 FB	43,387.0 km	156円.84銭	7,902,144円	7,594,938 円	6,973,686 FB	6,973,686 円
如	±	·:-	2.225,831.3km	789,346,539 円		383,142,156円	2,555,685.6km		438,112,713 FB	2,462,714.8km		451,327,785 FB	2,450,256.7km		379,110,172円	410,236,367 円	355,205,933 円	346,671,049 FB

真	担者力	(3)負担者及び負担割合	}		- 1														l	ı	
			計量を表現である。 (1) (2) (2) (3) (4) (4) (4) (5) (5) (5) (5) (5) (5) (5) (5) (5) (5	、ソのうち相助プロック外乗入格 人分及び同一権助プロック者当 利用外乗入館分別がに係るも の	計画平均 乗車密度 が5人 未満の路線	補助対象経費	計画額	経常費用から経常収益を控除	損失額から国庫補助額を控除した額				501	ウの負担者とその負担割合	- 40				44.0		お出口仕様
権思ブロック名	甲梅醇号	泰 架 相						製品		小型		市町村		その他の者	¥a	事業者自己負担		大田 号 来らまられ	の語に		する市町村内のキロ割合
		∀×∀ ∨=€×∨	ÿ	ン×ヺ'=ツ'	ツ×みなし運作器数/① 計画運行函数=ネ	+	7×1/2=5	7=E−0×=	Δ−ラ= Φ	負担額	負担割合	負担額	負担割合	負担額	負担割合	負担額	負担割合	2 藤瀬	r		
	Ш	6,416	6,416,876 FB	6,416,876 円	5,969,186 円	5,969年円	2,984.5千円	16,366,667 円	13,382,167 円	2,984,500 円	22.3%	825,390 円	6.2%	9,124,417円	68.2%	447,860 円	3.3%	国、県、三条市、見附市	ā		44.250%
	E2		13,476,447 円	13,476,447 円	E	13,476千円	6,738.0千円	16,036,605 円	9,298,605 FJ	6.738,000 FB	72.5%	956,497 円	10.3%	1,603,661円	17.2%	448 H	0.0%	国、渠、縣市	E2		90.000%
	E3		4,925,308 円	4,925,308 FB	4,477,552 円	9 4477年円	2238.5千円	6.050,004 FB	3,811,504 FB	2238,500 円	58.7%	E 0	0.0%	1,124,696円	29.5%	448,308 円	11.8%	国、県、児附市	E3		81.410%
	E4		6,397,340 FB	6,397,340 FB	E	B 6.397平円	3,198.5千円	11,315,117 円	8,116,617 FB	3,198,500 円	39.4%	E	0.0%	4,917,776 FB	80.6%	341 FE	0.0% El	国、県、児附市	E4	1	56.538%
	E5		11,033,677 円	11,033,677 円	E	11,033千円	5,516.5千円	23,012,859 円	17,496,359 円	5,516,500 円	31.5%	1,764,945 円	10.1%	10,208,044 円	58.3%	6,870 FB	0.0%	国、県、見附市	E5		55.642%
	E6		4,976,072 円	4,976,072 円	E	976千円	2,488.0千円	4,976,072 円	2,488,072 円	2,488,000 円	100.0%	E	0.0%	EL o	%000	72 FB	0.0%		99		100.000%
	E7		3,652,306 FB	3,652,306 FB	E	9.652千円	1,826.0千円	3,652,306 円	1,826,306 円	1,826,000 円	100.0%	E o	0.0%	EC o	%000	306 円	90.0%		£3		100.000%
	83		11,708,765 FB	11,708,765 円	E	日十807,111	5,854.0千円	18,411,873 FB	12,557,873 円	5,854,000 円	46.6%	7,814 FB	0.1%	6,695,293 FB	53.3%	766 FB	0.0%	国、県、見路市	88	l	63.636%
	E9		4,034,897 FB	4,034,897 円	E	9 4,034千円	2,017.0千円	6,684,186 円	4,667,186 FE	2,017,000 円	43.2%	117,988 円	2.5%	2,531,301円	542%	B97 E	0.0%	国、県、見附市	69		62.130%
	E10		25,039,305 FB	25,039,305 円	20,866,087 円	9 20,866千円	10,433.0千円	32,758,438 FB	22,325,438 円	10,433,000 円	46.7%	7,719,133 FB	34.6%	E o	%000	4,173,305 FB	18.7%		E10		100.000%
	EI		10,234,169 円	10,234,169 円	E	10,234千円	5,117.0千円	11,422,284 円	6,305,284 円	5,117,000円	81.2%	1,188,115 円	18.8%	E o	%000	H 691	0.0%		<u>=</u>		100.000%
	E12		11,742,791 FB	11,742,791 円	7,828,527 FF	9 7,828千円	3,914.0千円	15,322,396 FB	11,408,396 円	3,914,000 円	34.3%	3,579,605 円	31.4%	E o	500	3,914,791 FB	34.3%		E12		100.000%
	(E13)		9,550,778 円	9,550,778 円	E	9,550千円	4.7.75.0千円	46,821,902 FB	42,046,902 円	4.775,000 円	11.4%	3,813,152 円	9.1%	33,458,750 円	79.6%	0 E	0.0%	国、県、小千谷市、十 日町市	E13		28.513%
	E14		4,995,601 FB	4,995,601 円	4,683,375 FB	9 4,683千円	2,341.5千円	8,012,379 円	5,670,879 円	2,341,500 円	41.3%	212,445 円	3.7%	2,804,333 円	49.5%	312,602 円	5.5%	国、県、小千谷市	E1 4		65.000%
	E15		14,606,354円	14,606,354 円	Ħ	14,606千円	7,303.0千円	30,169,179 FB	22,866,179 円	7,303,000 FB	31.9%	2,055,491 円	9.0%	13,500,104 円	59.0%	7,584 FB	0.0% B	国、県、小千谷市	E15		55.252%
	E16		5,499,742 円	5,499,742 円	E	9 5,499千円	2,749.5千円	12,755,409 FB	10,005,909 円	2,749,500 円	27.5%	1,304,878 円	13.0%	5,946,189 円	59.4%	5,342 円	0.1%	国、県、小千谷市	E16		53.383%
	E17		12,987,577 円	12,987,577 円	8,379,081 円	8,379千円	4,189.5千円	22,031,349 FB	17,841,849 円	4.189,500 円	23.5%	2.673,200 円	15.0%	6,370,585 円	35.7%	4,608,564 円	25.8%	国、県、出継絡町	E17		71.084%
	E18		7,017,012 円	7,017,012 円	Ħ	9 7,017年円	3,508.5千円	7,017,012 FB	3,508,512 円	3,508,500 円	100.0%	0 H	0.0%	0 円	%000	12 FB	0.0%		E18		100.000%
	E19		10,032,416 円	10,032,416 円	Œ	10,032千円	5,016.0千円	21,884,371 FB	16.868.371 円	5,016,000 FB	29.7%	1,396,046 円	8.3%	10,455,915 円	62.0%	410 円	0.0%	国、県、柏崎市、刈羽村	E19		52.22%
	E20		11,684,137 円	11,684,137 円	E	月 11,684年円	5,842.0千円	33,294,116 FB	27,452,116 円	5,842,000 円	21.3%	3,927,823 円	14.3%	17,682,172 円	64.4%	121 円	0.0%	国、県、柏崎市、刈羽村	E20		46.891%
	E21	9,237	9,237,160 FB	9,237,160 円	7,489,589 円	7,489千円	3,744.5千円	9,237,160 FB	5,492,660 円	3,744,500 円	68.2%	0	0.0%	0	%000	1,748,160 円	31.8%		E21		100.000%
	E22		5,619,005 円	5,619,005 円	4,111,467 FB	9 4.111∓B	2,055.5千円	5,619,005 円	3,563,505 円	2,055,500 円	57.7%	E o	0.0%	E 0	%000	1,508,005 円	42.3%		E22		100.000%
	E23		23,085,859 円	23,085,859 円	20,987,144 円	9 20,987千円	10,493.5千円	30,441,477 FB	19,947,977 円	10,493,500 円	52.6%	7,355,618 円	36.9%	E 0	%000	2,098,859 円	10.5%		E23		100.000%
	(E26)		3,550,113 円	3,550,113 円	3,435,593 FB	9,435千円	1,717.5千円	9,349,263 円	7,631,763 FB	1,717,500 円	22.5%	1,053,289 円	13.8%	4,745,873 円	62.2%	115,101 円	1.5%	国、県、小千谷市	E26		49.238%
	E28		6,973,686 円	6,973,686 円	4,226,476 FB	9 4.226千円	2,113.0千円	7,594,938 円	5,481,938 円	2,113,000 円	38.5%	621,252 円	11.3%	0	%000	2,747,686 円	50.1%		E28		100.000%
	幸		238,477,393 円	238,477,393 円	92,454,077 円	9 216,348千円	108.174千円	410,236,367 円	302,062,367 FB	108,174,000円	35.8%	40,572,680 円	13.4%	131,169,108 円	43.4%	22,146,578 円	7.3%				

様式第1-5 (日本工業規格A列4番)

(東任者役職・氏名) 次長 佐山 尚生 £8〕 次長 佐山 尚生 有・無 有・無 #· # #· # 有・側 #· ## ₩. #· # # # 有・側 15.3 有・側 14.9 有・側 25.6 有・興 15.4 有・側 29.9 有・側 31.1 有・働 37.7 有・側 35.1 有・側 33.1 有・働 48.3 有・働 12.4 有・側 19.7 有・働 25.0 16.7 29. 6 23.8 24. 4 19.8 難送量 (A) × (G) 18.3 3.9 35. 2 28.3 4.4 5.2 令和3年10月1日~令和4年9月30日 通年実施 5.2 5.9 3.8 5.3 4. 9.9 7.7 4.3 3.9 4.8 3.9 4.4 4.2 5.2 4.6 4.7 4.0 4.3 4.0 4.4 3.1 5.5 3.4 4.8 3.5 2.7 3.3 ・祖当4年の名称) 運輸営業部 (祖当4年の名称) 運輸営業部 전 褂 31.70 31.47 39.81 33.54 33.94 34.67 37.75 38.71 39.15 37.90 30.56 34.94 40.41 23.75 35.59 28.71 28.00 35.69 41.78 38.09 29.86 26.79 37.78 43.25 31.25 38.16 24.58 32.72 運賃改定前 適用 運賃改定後 適用 の平均賃率×日数+の平均賃率×日数 総適用日数 運行計画担当部門 補助金担当部門 事業者名 実態調査日 17, 688, 295 23, 527, 235 32, 769, 522 4,065,992 16, 631, 223 22, 146, 993 39, 459, 324 13, 342, 136 66, 175, 799 21, 545, 580 94, 562, 977 15, 751, 669 15,002,544 48, 306, 004 47, 972, 537 31, 896, 719 12, 458, 261 35, 512, 217 48, 623, 571 19, 156, 907 67, 506, 961 26, 110, 437 39, 520, 151 59, 738, 551 60, 042, 651 19, 966, 116 23, 761, 291 52, 297, 025 30, 238, 336 1系統当り 経常費用 (円) 経常費用 (B) +(D) +(E) 18, 763, 197 5, 863, 672 19, 395, 240 20, 844, 862 19, 873, 698 8, 513, 235 7, 439, 905 24, 501, 879 2, 258, 284 29, 318, 679 13, 488, 308 27, 718, 637 10, 687, 964 17, 327, 005 8, 803, 264 6, 995, 482 24, 142, 008 12, 059, 160 12, 961, 651 4, 776, 412 15, 034, 937 16, 670, 811 13, 407, 851 18, 460, 521 10, 182, 641 15, 672, 737 17, 396, 823 17,049,363 17, 020, 267 197, 736 253, 751 262, 562 180,991 268, 273 98, 792 232,850 87, 566 294, 525 128, 747 30,484 395, 768 164, 744 144, 275 210,558 103, 791 94, 431 310, 301 200, 715 153, 364 55, 957 374, 170 205, 778 183, 137 運行系統別輸送実績及び平均乗車密度算定表(令和4年度) 宮城 第6円 外益 304, 600 727, 143 275, 508 123, 560 200, 672 870, 947 86, 589 332, 024 236, 820 351, 025 129, 266 304, 677 114, 577 168, 461 215, 562 188, 779 135, 808 406, 018 262, 628 307, 277 277, 222 185, 922 239, 629 343, 553 39,887 517,849 489, 589 269, 255 73, 217 選 (E) (E) 117,079.4 65, 611.0 199, 991. 0 142, 119.8 94, 494. 8 49, 270. 4 39, 526. 4 196,047.4 63, 829. 3 69, 700.0 77, 352.8 44, 445. 4 176,976.9 177,877.8 52, 402. 0 表 中 (C) (X) (X) 97, 080. 5 105, 205. 8 56, 752.8 116, 899.2 12,045.6 46, 664. 59, 150. 70, 393. 154, 931. 2 89, 581. 144,048. 280, 145. 143, 107. 36,907. 15, 602, 128 18, 225, 805 5, 710, 907 18, 809, 465 20, 238, 747 12, 990, 040 19, 254, 400 17, 922, 994 7, 237, 762 9,885,433 28, 405, 062 13, 108, 002 933, 301. 2 26, 854, 878 16,840,939 8, 563, 665 6, 777, 491 23, 425, 689 15, 209, 394 11, 705, 124 16, 574, 330 12, 633, 637 4,647,238 14, 612, 171 8, 285, 177 23, 480, 211 2, 187, 913 10, 354, 910 16, 854, 709 16, 531, 177 運送收入 (B) (円) 522, 852. 0 548, 414. 8 509, 460. 4 425, 724. 0 1, 152, 828. 8 418, 662. 0 461, 681. 0 年間輸送実績 444, 998. 4 372, 690. 0 165, 066. 6 687, 860. 4 262, 864. 6 327, 978. 0 368, 096. 7 177, 610. 4 737, 812. 0 524, 943. 2 289, 139. 5 384, 617. 2 416, 849, 6 181, 317. 6 177, 105. 3 395, 396. 4 544, 072. 0 121, 179. 2 53, 912. 1 を 大 (人社) 420, 1 人 平 (Fm) 10.6 10.2 9.9 9.4 12.3 11.6 7.2 7.8 12.2 15.2 9.0 7.8 8.3 9.0 7.3 8. 13.9 6.5 9.5 8.4 5. 1 13.1 9.3 10.3 12.2 13.1 51, 744 30, 300 43, 919 56, 382 20,066 36, 442 46, 518 20, 183 44, 483 63, 052 38, 388 57,880 58, 342 25, 183 54, 580 32, 366 75,844 44, 349 53,080 40, 072 48, 598 11, 432 34, 168 50, 091 輸送人員(人) 119,654 24, 261 5, 797 4.4 4.7 3.2 5.5 7.6 3.8 4.9 3.9 9.0 3.2 7.6 3.4 0.9 7.9 4.7 10.5 3.9 6.4 3.6 3.1 8.9 6.4 3.8 6.4 7.0 5.9 5.6 3.6 7.8 活数(水)回 28.0 15.5 25. 7 20.4 18.2 17.3 17.6 16.9 35. 2 25. 1 49.1 20.0 25.7 26.6 24.9 17.6 19.4 36.0 38.6 21.3 30.0 34.8 19. 7 ポロ (Fa) 28.7 25.9 16.8 15.2 20.5 与板警察署前 与板警察署前 長岡駅東口 新町・耳取 上見附車庫前 長岡駅東口 新町・浦瀬 上見附車庫前 上見附車庫前 与板警察署前 **福港番届日十** 片員・小栗田 小干谷車庫前 日赤雀院・中永 田鶴 島中屋 町 小国車庫前 八木ケ鼻温泉 **福港番届日十** 栃尾車庫前 西東・橋原 栃尾車庫前 昭和通り・新模 栃尾車庫前 東バイバス・新復 栃尾車庫前 相下·成识·与板 小島谷駅前 テキ谷インター 小干谷車庫前 小国車庫前 柏崎駅前 分水駅前 柏崎駅前 総売 坂井町 蓮花寺 国沿 片貝·坪野 李崎・与板 三ツ郷屋・河機川 関原三叉路 関原三叉路 小千谷・十日町柳院 格 田 古 長岡駅東口 麻生田 新国道 七日町 雪州 田田 安田 興野 羅羅 小干谷車庫前 干手

1,005,777,024

436, 628, 493

5, 521, 031

8, 178, 064

2,979,638.7

422, 929, 398

1, 256, 269

715.9

小干谷車庫前

小干谷~小国

柏崎~岡野町

三条~八木ケ鼻 小干给~十日町

9

靴 響

長岡駅前

是国~事出

24

長岡~見附③

長岡駅前 長岡駅前

長岡~小島谷 長国~十日町 (急行) 長岡駅前 (急行) 長岡駅前

長岡駅前

長岡~小千谷① 長岡~小干谷② 長岡~小千谷③

長岡駅前

長岡~与板①

56 28 長岡駅前

長岡~与板② 長国~枯島① 長国~柏島②

長岡駅前

長岡~蓮花寺

32

長岡駅前 長岡駅前 長岡駅前

長因駅前

長岡~与板③

長岡駅前

長岡~宮沢 長岡~小国

37 38 39 4 42

長岡駅前

長岡~出戦・

(急行) 長岡駅前 (急行) 長岡駅前 (快速) 長国駅第口

(急行)長岡~栃尾①

(急行)長岡~栃属② (快速)長岡~栃尾②

(快速)長岡~栃尾①

長岡~見附① 長岡~見附②

長岡駅前

16 11 8 19 20 21 22 23 52 27 53 30 33 33 34 32 36

長岡駅前

長国~分水 長田~今町

14 12

起点

通行 系統名

申 審請 号

様式第1-5(日本工業規格A列4番)

(現在春秋階・兵名) 次長 佐山 尚生 (現在春秋間・兵名) 次長 佐山 尚生 26.0 有・傷 16.5 有・傷 23.6 有・働 有・無 28.1 有・無38.6 有・無 有・無 有・無 車· ● #· # 34.3 有・無 32.4 有・無 ₩. ₩ 車・無 車・無 35.2 有・無 14.9 有.無 18.0 有・黴 18.8 有・無 14.6 有・無 27.7 有・無 15.1 有・無 15.1 有・無 35.3 有・無 越後交通株式会社 31.9 29.9 16.3 15.1 55.6 29. 7 43.4 輸送量 (A) × (G) 4.8 4.9 実態調査日 令和4年10月1日~令和5年9月30日 通年実施 5.1 (組出版での名称) 運輸営業部 (組出版で名称) 運輸営業部 字篇 成章 42.72 36.43 39, 31 41.60 41. 70 40.52 33.75 38. 26 38.90 31.44 37. 72 43.90 41.02 32.86 29.95 40.22 45.05 40.29 26.97 35.14 36.97 26.97 32. 17 運賃改定前 適用 運賃改定後 適用 の平均賃率×日数+の平均賃率×日数 総適用日数 平均乗車密度算定 運行計画担当部門 補助金担当部門 503, 800, 190 1, 015, 812, 059 25, 607, 816 32, 921, 950 12, 407, 068 37, 137, 756 45, 070, 059 19, 701, 889 22, 796, 264 17, 118, 402 35, 313, 902 15, 832, 555 73, 020, 490 22, 184, 709 97, 206, 347 21, 651, 812 68, 080, 497 39, 667, 953 15, 657, 289 15, 361, 379 53, 709, 614 59, 905, 503 20, 557, 709 22, 880, 449 51, 476, 238 44, 193, 244 56, 068, 780 16, 792, 890 40, 924, 863 1条统当り 経常費用 (田) 経常費用 15, 346, 772 22, 154, 419 21, 552, 786 13, 722, 900 19,053,362 29, 575, 340 12, 200, 883 21,028,680 8, 817, 108 9,049,859 28, 326, 003 29, 964, 568 11,611,156 計 ·(D) +(E) 16, 135, 880 7, 721, 728 19,041,364 9,027,344 7,969,680 10, 992, 246 42, 184, 982 10, 749, 491 14, 338, 643 22, 125, 123 24, 292, 388 14, 808, 875 34, 530, 371 18, 899, 252 8,578,987 (8) 73,446 38, 489 94, 915 94,974 54, 792 172, 122 43,950 45, 110 141, 194 149, 363 8, 850, 591 2, 506, 171 80, 431 110, 432 68, 404 44, 998 39, 726 145, 386 104, 821 110, 286 42, 763 73,816 210,277 53, 582 60,817 57,877 71,472 94, 206 107,433 121,089 運行系統別輸送実績及び平均乗車密度算定表(令和5年度) 120,250 296, 719 124, 112 862, 799 171, 182 327,480 137, 308 140,933 441, 121 841,677 251,284 335, 642 213, 707 296, 532 140,583 656, 948 167,402 537, 742 190,005 466, 638 180,821 344,555 378, 306 294, 319 345,012 223, 296 133, 601 230,617 運送雑収 ê Ê 492, 443, 428 2, 903, 149. 7 44, 747. 9 43, 902. 2 35, 458. 9 56, 307. 2 65, 150. 8 48, 923. 7 100, 925. 7 45, 248. 8 208, 689. 6 63, 403. 0 194, 571. 3 73, 186. 1 113, 369, 4 126, 302. 5 実車走行 キ ロ 94, 089. 93, 068. 106, 138. 128, 808. 277, 811. 8 61, 880. 153, 499. 171, 207. 58, 753. 147, 117. 160, 242. 47, 993. 65, 391. 116, 961. . 68 14, 431, 649 15, 804, 165 7, 562, 989 21, 698, 975 21, 109, 711 13, 440, 789 18, 649, 917 8, 841, 763 18, 661, 669 7, 805, 842 28, 567, 155 10, 766, 272 10, 528, 507 33, 820, 507 11, 950, 061 20, 596, 379 8, 635, 850 8, 863, 816 27, 743, 688 29, 348, 567 11, 372, 458 14, 043, 875 21, 670, 282 23, 792, 993 8, 402, 623 14, 504, 442 41, 317, 757 18, 510, 727 運送収入 (B) (円) 年間輸送実績 840, 250.0 544, 180. 2 406, 484. 2 440, 662. 6 570, 257. 4 474, 161. 6 213, 060.8 445, 328.0 269, 325, 0 1, 042, 812. 0 380, 385. 6 620, 568.0 586, 296.0 683, 334, 3 367, 647. 6 280, 143.8 1, 477, 376.0 963, 041. 1 308, 469, 6 441, 374. 4 176, 872.8 189, 615.6 194, 324. 2 214, 742.1 595, 425. 6 280, 153. 2 239, 393. 7 833, 780. 1 - 集 人 (を (Am) (Am) 口 切 9.0 8.4 7.9 12.5 19.9 10.2 8.7 15.9 14.7 10.2 48,974 22,676 60, 144 28, 792 35, 114 67, 220 29,925 125,640 45, 284 53, 351 24, 598 24,683 52,439 65, 513 41, 199 57, 124 , 336, 695 輸送人員 (人) 23, 741 42,977 20, 461 40,876 3. 4 4. 2 3. 7 3.1 3.6 10.3 6. 2 3. 1 5.8 6. 2 運回火回 699. 1 28.0 15.5 18.2 17.6 16.9 20.0 26.6 24.9 17.6 19.4 36.0 38.6 15.2 30.0 20.5 34.8 28.7 25.9 25.7 20.4 17.3 35.2 25.1 25.7 21.3 19.7 25.2 49.1 ポロ報 (Ma) 上見附車庫前 上見附車庫前 上見附車庫前 十四四年兩世 小干谷車庫前 (急行) 長岡駅前 片員・坪野 小干谷車庫前 出雲崎車庫前 与板警察署前 与板警察署前 八木ケ鼻温泉 十日町車運動 岡野町車庫前 小干 谷インター 今町5丁目 栃尾車庫前 百東・楡原 栃尾車庫前 昭和通り・新模 栃尾車庫前 東バイバス・新模 栃尾車庫前 棋下·成沢·与板 小島谷駅前 小国車庫前 小国車庫前 分水駅前 柏崎駅前 柏崎駅前 李崎・与板 坂井町 蓮花寺 回沿 長岡駅東口 新町・耳取 長岡駅東口 新町・浦瀬 片貝・小栗田 日赤衛院・中永 三ツ郷屋・河根川 関原三叉路 関原三叉路 井 経 田 地 長岡駅東口 麻生田 新国道 小千谷車庫前 七日町 中 服 興野 田田 英田 高見 小干谷車庫前 干手 東三条駅前 棚鱗 (急行) 長岡駅前 (急行) 長岡駅前 (快速) 長岡駅東口 長岡駅前 長岡駅前 (急行) 長岡駅前 (快速) 長岡駅第口 長岡駅前 長岡駅前 長岡駅前 長岡駅前 長岡駅前 長岡駅前 長岡駅前 柏崎駅前 長岡駅前 長岡駅前 長岡駅前 長岡駅前 起点

棄

第26号 長岡~小千谷① 第28号 長岡~小千谷③ 長岡~小千谷②

長岡~十日町

東国~田麒島 長岡~蓮花寺 長岡~与板① 長岡~柏崎① 第33号 長岡~柏崎② 長岡~与板②

第30号 第31号 第32号 第34号

第24号 長岡~小島谷

是国~非沿

第23号: 第25号: 第27号: 第29号: 三条~八木ケ鼻 小干谷~十日町

長岡~小国

長岡~宮沢

小干谷~小国

第39号

柏崎~岡野町

卓

(急行)長岡~栃属2) (快速)長岡~栃尾②

① 拟省~回針 長岡~見附② 長岡~見附③

第20号:

(急行)長岡~栃尾① (快速)長岡~栃尾①

東国~今門

長岡~分水

東国~川条

第13号 第14号 第15号 第16号 第17号 第18号 第19号 第21号 第22号

作 系統名

铡

無冊

_
梅
4
壓
⋖
搾
型
無
Η
₩
Ш
\sim
Ŋ
- 1
_
無
Ħ
榛

															P II K				
															運行計画担当部門	祖当館門の名称)	《責任者役職	職·氏名) 次長 佐山	世紀
															明明	(祖和部門の名称) 連動営業部 乗合パス謀	は (責任者役職 合バス課	(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	
							计算记录器		明律 5.7() 5.4 电压器	电压器 医角孔虫		(令對6年期)							
					I		- X			***		¥			実態調査日 - 令和5年10月1日~令和6年9月30日 通年実施	4年9月30日 通	4年実施		
		運行系統						年間輸送実績				経常収益		経常費用	平均乗車密度算定				
請運行	超	報用日本	然	キロ程 (Km)		輸送人員 1 (人)	# 大 本 ((# 人 (人 キ む し (大 も も も も も も り し り り り り り り り り り り り り	運送収入 (B) (円)	来 本 (C) (Km)	運送雑収 (D) (円)	阿米 女	(B) + (D) + (E)	1系統当り 経常費用 (円)	運賃改定前 適用 運賃改定後 適用 の平均賃率×日数+の平均賃率×日数 総適用日数	中 (E) (E) 中 (E)	平均乗車 密 度 輸) (B)/(C) (A): /(F)	市町村に送量 よる回数×(6) 券購入等の有無	は数等
第51号 長岡~三条	長岡駅前	新国道	東三条駅前	28.7	4.4	54, 147	8. 4	454, 834. 8	16, 222, 913	92, 998. 4	772, 791	122, 257	17, 117, 961	35, 009, 247		35.41	4.9	21.5 有・(
第E2号 長岡~分水	長岡駅前	插)	分水駅前	28.0	4.6	54, 216	8.8	477, 100. 8	17, 011, 778	93, 797. 4	168, 383	128, 202	17, 308, 363	35, 310, 030		35.14	5.1	23.4 有・(
第E3号 長岡~今町	長岡駅前	画	今町5丁目	15.5	3.2	25, 087	7.0	175, 609. 0	7, 594, 602	36, 944. 3	75, 171	57, 233	7, 727, 006	13, 907, 681		42.72	4.8	15.3 有・(#
第E4号 (急行) 長岡~栃尾①	尾① (急行) 長岡駅前	五一	栃尾車庫前	25.9	5.2	57, 748	10.4	600, 579. 2	22, 054, 732	100, 310. 7	218, 300	166, 207	22, 439, 239	37, 761, 963		36. 43	0.9	31.2 有・(#
第E5号 (急行) 長岡~栃尾②	尾② (急行) 長岡駅前	ff 百束・橋原	栃尾車庫前	25.7	6.5	60, 265	10.5	632, 782. 5	23, 674, 240	122, 717. 5	234, 330	178, 412	24, 086, 982	46, 197, 002		36.97	5.2	33.8 有・(<u>*</u>
第E6号 (快速) 長岡~栃尾①	属① (快速) 長岡駅町口	新模·谷内	栃尾車庫前	20.4	3.7	28, 188	12.3	346, 712. 4	12, 763, 619	55, 569. 6	126, 335	96, 188	12, 986, 142	20, 919, 175		36.47	6.2	22.9 有・無	(#)
第E7号 (快速) 長岡~栃尾②	属② (快速) 長期取取口	東バイパス・新復	栃尾車庫前	18.2	4.6	33, 881	11.1	376, 079. 1	14, 799, 189	62, 444. 2	146, 484	111, 528	15, 057, 201	23, 507, 119		39.31	0.9	27.6 有・團	(#)
第E8号 長岡~見附①	長岡駅東口	1 新町・浦瀬	上見附車庫前	17.6	6.2	52, 909	8.5	449, 726. 5	18, 884, 923	80, 678. 4	186, 925	142, 319	19, 214, 167	30, 371, 383		41.70	5.6	34.7 有・(
第E9号 長岡~見附②	長岡駅東口	1 麻牛田	上見附車庫前	16.9	3.7	36, 013	6.4	230, 483. 2	9, 451, 733	46, 497. 4	93, 554	71, 229	9, 616, 516	17, 503, 946		40.52	5.0	18.5 有。	O#(
第E10号 長岡~寺泊	長岡駅前	李崎・与板	坂井町	35.2	11.1	113, 231	12.3	1, 392, 741. 3	47, 348, 595	285, 104. 7	1, 011, 661	356, 824	48, 717, 080	107, 327, 663		33.75	4.9	54.3 有。)#(`
第E11号 長岡~小島谷	長岡駅前	横下・成沢・与板	小島谷駅前	25.1	3.4	28, 979	11.1	321, 666. 9	12, 374, 023	64, 005. 0	122, 479	93, 252	12, 589, 754	24, 094, 682		38. 26	5.0	17.0 有。) (()
第512号 長岡~与板①	長岡駅前	增	与板警察署前	16.8	6 .0	5, 636	6.7	37, 761. 2	1, 651, 119	11, 995. 2	16, 342	12, 443	1, 679, 904	4, 515, 593		43.29	3.1	2.7 有・	(#)
第E13号 長岡~十日町	長岡駅前	小千谷・十日町銀銭	十日町車庫前	49.1	7.9	60, 569	22. 4	1, 356, 745.6	37, 988, 197	279, 663. 6	376,009	286, 283	38, 650, 489	105, 279, 361		26.97	5.0	39.5 有・(
第E14号 長岡~小千谷①	① 長岡駅前	新国道	小千谷インター	20.0	3. 7	28, 807	9.3	267, 905. 1	10, 528, 938	54, 220.0	104, 216	79, 347	10, 712, 501	20, 411, 119		38.90	4.9	18.1 有・無	(#)
第E15号 長岡~小千谷②	2 (念行) 長岡駅前	前 片貝・小粟田	小千谷車庫前	25.7	9. 7	136, 473	6.1	832, 485. 3	36, 566, 454	184, 641.0	361, 938	275, 569	37, 203, 961	69, 508, 103		32.17	6.1	59.1 有。)#(
第E16号 長岡~小千谷③	3 (急行) 長岡駅前	片貝・坪野	小千谷車庫前	26.6	3.5	43, 153	8.3	358, 169. 9	11, 325, 224	69, 293. 0	112, 098	85, 348	11, 522, 670	26, 085, 349		31.44	5.1	17.8 有。)#(
第日7号 長岡~出雲崎	長岡駅前	日赤疱院·中永	田瀬香神田	24.9	6.2	42, 511	10.7	454, 867. 7	17, 209, 594	114, 340. 4	170, 342	129, 693	17, 509, 629	43, 043, 443		37.72	3.9	24.1 有。) # ()
第E18号 長岡~与板②	長岡駅前	三ツ郷屋・河根川	与板階祭署前	19.4	3.1	29, 891	8.1	242, 117. 1	9, 973, 135	44, 426. 0	98, 715	75, 158	10, 147, 008	16, 724, 167		41.02	5. 4	16.7 有・(₩.
第E19号 長岡~柏崎①	長岡駅前	型	柏崎駅前	36.0	5.1	42, 703	18.4	785, 735. 2	26, 026, 345	134, 009. 8	257, 610	196, 136	26, 480, 091	50, 447, 988		32.86	5.9	30.0 有・((#)
第E20号 長岡~柏崎②	長岡駅前	田田田	柏崎駅前	38.6	6.1	60, 642	14.5	879, 309. 0	26, 777, 246	169, 106. 9	265, 043	201, 796	27, 244, 085	63, 660, 292		29.95	5.2	31.7 有・(®
第E21号 長岡~与板③	長岡駅前	関原三叉路	与板警察署前	21.3	3.8	43, 307	6.4	277, 164. 8	11, 254, 043	59, 256. 6	111, 393	84, 811	11, 450, 247	22, 307, 147		40.22	4.7	17.8 有・(®
第E22号 長岡~宮沢	長岡駅前	関原三叉路	宮沢	15.2	5	46, 304	5.8	268, 563. 2	12, 150, 608	55, 213. 6	120, 267	91, 568	12, 362, 443	20, 785, 158		45.05	4.8	24.0 有・(·
第E23号 長岡~小国	長岡駅前	川東	小国車庫前	30.0	6.6	67, 963	10.3	700, 018. 9	24, 436, 223	144, 395. 2	241, 872	184, 153	24, 862, 248	54, 357, 572		34. 57	4.8	31.6 有・(₩.
第E26号 小千谷~小国	小干谷車庫前	前七日町	小国車庫前	19.7	3.1	21, 600	10.2	220, 320. 0	7, 702, 739	45, 240.8	76, 242	58, 048	7, 837, 029	17, 030, 899		34.74	4.9	15.1 有・) @ (0
第E28号 長岡~蓮花寺	長岡駅前	中永	蓮花寺	17.6	3.3	17, 422	8. 7	151, 571. 4	6, 688, 463	43, 387.0	66, 202	50, 404	6, 805, 069	16, 333, 035		43.90	3.5	11.5 有・	()#()
中				618.1	-	1, 191, 645			442 458 675	2 450 256 7	5 534 702	3 334 408	451 327 785	711 008 660					

表2 地域公共交通確保維持事業に要する費用の総額、負担者及びその負担額(地域間幹線系統用)

事業者名 南越後観光バス株式会社 令和8年度 ※令和9年度、令和10年度については、令和8年度事業から 土日・祝日の日数による運行回数等の違いを除き、変更がないため省略

1. 申請事業者の概要

(1)基準期間: R6年度実績(R5.10.1~R6.9.30)

(1) 坐十别问:10 千尺天	III THE	1.0.00	/					
				乗合バス	事業			
補助対象期間の	営業収益		149,508 千円	営業外収益	743 千円	経常収益(イ)	150,251	千円
前々年度(基準期間 [※])の 損益状況	営業費用		326,147 千円	営業外費用	986 千円	経常費用(口)	327,133	千円
), (all) (1) o	営業損益		▲ 176,639 千円	営業外損益	▲ 243 千円	経常損益	▲ 176,882 ⁻	千円
補助対象期間の		km				経常収支率	45.92	%
前々年度の 実車走行キロ(ハ)	956,181.8						='	

(2)基準期間の前年度: R5年度実績(R4.10.1~R5.9.30)

 <u>-/ 坐于/则的V7 时干及:</u>	して大人では、ここ		110.0.00						
				乗合バス	事業				
基準期間の前年度の	営業収益		149,532 千円	営業外収益	8,447 千円	経常収益(イ)		157,979	千円
損益状況	営業費用		344,637 千円	営業外費用	1,035 千円	経常費用(口)		345,672	千円
	営業損益		▲ 195,105 千円	営業外損益	7,412 千円	経常損益	•	187,693	千円
基準期間の前年度の		km				経常収支率		45.70	%
実車走行キロ(ハ')	1,062,956.0				•		-		

(3)基準期間の前々年度: R4年度実績(R3.10.1~R4.9.30)

	(3) 基準期间の削べ年度	:R4平及美領(<u>K3.10</u>	.1∼R4.9.30)				
I					乗合バス	事業		
	基準期間の前々年度の	営業収益		126,632 千円	営業外収益	11,642 千円	経常収益(イ)	138,274 千円
	損益状況	営業費用		351,568 千円	営業外費用	1,149 千円	経常費用(口)	352,717 千円
		営業損益		▲ 224,936 千円	営業外損益	10,493 千円	経常損益	▲ 214,443 千円
ĺ	基準期間の前々年度の		km				経常収支率	39.20 %
	実車走行キロ(ハ")	1,143,429.0						-

(補助対象事業者の「基準期間[※]を最終年度とする連続した過去3年間」における実車走行キロ当たり経常費用等)

	(開始的第三人称) 至于初的		「ダイベットで」「こうと」	
		補助対象事業者の実車走	補助対象事業者の実車走行キ	補助対象事業者の実車走行キ
	補助ブロック名	行キロ当たり経常費用	口当たり経常費用	口当たり経常費用
	補助プロック石	(基準期間の前々年度)	(基準期間の前年度)	(基準期間)
		ロ"÷ハ"= a	ロ'÷ハ'= b	ロ÷ハ=c
	羽越	308円.47銭	325円.19銭	342円.12銭
ı				

^{※「}基準期間」とは、補助対象期間の前々年度の補助対象期間をいう。

2. キロ当たり補助対象経常費用及び収益

	<u> 2. イロヨにり補助対象和</u>	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			
	補助ブロック名	補助対象事業者の実車 走行キロ当たり経常費用 (a+b+c)/3 = 二	地域キロ当たり 標準経常費用 ホ	キロ当たり経常費用 ニとホのいずれか少ない額 へ	キロ当たり経常収益 イ÷ハ=ト
	羽越	325円26銭	394円29銭	325円26銭	157円13銭
Г					

3. 益(1)3	3. 補助対象3 (1)系統概要	東 条紙 に、	とに要する費用	補助対象系統ごとに要する費用、負担者とその負担割合)系統概要	負担割合			•												ſ			ſ
		1		運行系統		計画運行日	李 唐 龍 介 回 教	計画平均無	非常是	系統キロ程		地域公共交通再編事業を実		ここ 補助プロック外		同一補助プロック 煮造の高水番3	他路線との競合		補助プロック外乗入 部分、同一補助プ D競 ロック都道府県外乗	乗りなど。乗	# 40		
補助ブロック名	年梅 霍 中	华 例 措 置	運行系統名	超点 総由苦	微低					(全体キロ)		る区域におけるキロ	程 実施する区域 におけるキロ 程との比率			部分のキロ程	部分に係るキロ程	- 中華	入部分及び他路線との競合部分以外のキロ程の比率	路線大	シの譜号一中番	全体キロに対する市町村内のキロ	衣长
							(1)=カッコ内	0	①×②=③	+		*	オ÷チ=ク	ū		ĸ	4	ル÷チ	(≠−(リ+ヌ+ ル))÷≠=ヲ	+ K=			
解	ME5		小干谷~小出 小干:	小干谷懿合病川口	小田町業別割	238 B	1190.0 E	2.7	13.5人	往 25.0km (平 復 25.0km	(平均) 往 0 25.0km 復 0	往 0.0km (平均) 後 0.0km 0.0	9% 0.0km 0.000	往 0.0km 貧 0.0km	(平均) 往17.0km 0.0km 復17.0km	.0km (平均) .0km 17.0km	往 0.0km (平均) 復 0.0km 0.0	lkm	9%	32.000	ME5	世 愛	8.0
	本。		1系統							往 25.0km 復 25.0km	往 0 25.0km 復 0	往 0.0km 復 0.0km 0.0	0.0km	往 0.0km 復 0.0km	往 17.0km 0.0km 復 17.0km	.0km .0km 17.0km	往 0.0km 復 0.0km	0.0km]		1
(2)	朝对多	(2)補助対象経費の算定	り算定																				
			ック外及び同	計画実車走 補助対象 行 経常費用	黎 田					補助対象系統のキロ当たり経	こり経常収益			補助対象 経常収益 の見込額		補助対象経常 補助: 費用から経常 補助: 収益を控除した の[額	体助対象経費 がの限度額 がわ	タ又はしのうちい ずれか少ないほう の額					
1		李章	都道府県外乗人 部分以外のキロ 程の比率	キロの見込	公額		基準期間の前々年度	うる年度		基準期間の前年度	年度	+RI	基準期間			í					4 小		
垂 ロ ろ か か め の の の の の の の の の の の の の の の の の	- 加 - 梅 - 語 中	多	$(\vec{\tau} - (\vec{J} + \vec{\chi})) \div \vec{\tau} =$	へ×ワ以下の 離:カ	ህ ጉ ወ (d+e+f)/3 =/		楽庫で 発験収益 マ" キロ マ" マロ	補助対象系 統の集車走 行キロ当たり 経常収益 ヤ"÷マ"=d	章 事 事 事 か が が が が が が が が が が が が が	辞 実単 マ'っつ' マ'	補助対象系 統の実単土 行キロ当たり 経常収益 ヤ'・マ'=e	経常収益 ヤ	編助 無単元 キロ キロ ママ 経路 ママ 経路 ママ 経路 ママ をおの では では では では では では では では では では	補助対象系 統の寒事法 行中口当たり /×ワ以上の額。 総常収益 た・フ= ディ・フ=		л−∃=¢ л×(カ×9/20=レ	>			の語号中番		
沿旗	ME5	10	32.000% 59	59,500,0km 19,3!	19,352,970 円 84円	84円.43銭 9,80	9,804,174 円 96,900	96,900.0 km 101円.17銭	.17銭 6,192,467円	7 円 84,250.0 km	km 73用.50銭	5,169,514 円	65,750.0 km 78	78円.62銭 5,023	5,023,585 円 14,3	14,329,385 円 8.7	8,708,836 円	8,708,836 円			ME5		
	和		29	59,500.0km 19,3	19,352,970 円	98.80	9,805,364 円 96,90	96,902.7km	6,192,492 円	2 円 84,250.0km	km	5,169,514 円 6	65,750.0km	5,02;	5,023,585 円 14,3	14,329,385 円 8.7	8,708,836 円	8,708,836 円					
(3)	}担者]	(3)負担者及び負担割合	調合																				
		本: 	ソのうち補助プロック外乗入部分、 同一補助プロック都選件県外乗入 部分及び他路線との競合部分以 外に係るもの	分、2000も補助プロック外乗入 RA 部分及び同一補助プロック総 RD 当所用外乗入部分以外に係 るもの	ty 計画平均 24 乗車密度 5.6 が5人 未満の路線		補助対象経費	計画額	経常書経常収	経常費用から 損分経常収益を控除	損失額から国庫補助 額を控除した額				φ. 6	ウの負担者とその負担割合	· 题				る ツ 型 ↓	令 (本)	78
補野フロック名	年 権	e 指 m							5			新光	新潟県	市町村	#	その他の者	#III	事業者自己負担		大田 号: 巻のまられ	の語に	する市町村内のキロ割合	· E
		l	ゾ×ヲ=ツ	ソ×ヲ' = ツ'	ツ×みなし運行回数/① 計画運行回数=ネ	数 / 中 中	+	ナ×1/2=ラ	=×-0-3=	7=E-	ζ- Ξ- 7	負担額	負担割合	負担額	負担割合	負担額	負担割合	負担額	負担割合	的概要	ık		
別	MES	- 2	2,786,827 ₽	円 2,786,827	円 1,114,730	730 円	1,114千円	557.0千円		14,329,385 円	13,772,385 円	557,000	H 4.0%	1,798,576	H 13.1%	9,743,982 円	70.8%	1,672,828 円	12.1%		ME5	32.000%	%0
	福		2.786,827 円	円 2,786,827 円	円 1,114,730 円	730 FB	1,114千円	557	557千円 14	14,329,385 円	13,772,385 円	557,000	H 4.0%	1,798,576	13.1%	9,743,982 円	541.8%	1,672,828 円	12.1%				1

_
梅
4
屋
⋖
椝
型
継
Н
₩
Ш
$\overline{}$
2
1
_
無
끖
兼

運行系統別輸送実績及び平均乗車密度算定表(令和4年度)

次長 武藤

乗合営業部 乗合営業部

運行計画担当部門 補助金担当部門

事業者名

南越後観光パス株式会社

		権		
7日実施		ホーカー マーカー マーカー 本名 の 本本 の 国 教 の 単葉 入 郷 入 郷 一 乗 乗 一 乗 乗 一 乗 乗 乗 乗 乗 乗 乗 乗 乗 乗 乗 乗	<u>*</u>	
∓6月1		oo (9)	19.6 有	
令和44		車 (A) 巻 ※ (A) 本	3.7	
2 1 日実施		平均乗車 密 度 (B)/(C) /(F) (G)	32	
Щ		平 均 賃 率 (F) (用)	25. 3	
実態調査日 令和4年1	平均乗車密度算定	通貨收定割 適用 通貨收收條 適用 〇平均資率×日数十〇平均資率×日数 総適用日数	3	8
	経常費用	1 系統当り 経常費用 (円)	29, 890, 743	29, 890, 743
		(B) + (D) + (E)	9, 804, 174	9, 804, 174
	経常収益	ば 数 板 (E) (円)	684, 304	684, 304
		運送雑収 (D) (円)	21,859	21,859
		実車走行 キ ロ (C) (km)	0 '006 '96	96, 900. 0
	績	運送収入 (8) (円)	9, 098, 011	9, 098, 011
	年間輸送実績	# 人 (人キロ (人キロ)	287, 220. 3	
		1 米本 (Se) 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	7 7.9	1
		輸送人員 (人)	3 36, 357	36, 35
		運行 回数 (A) (回)	.5	
		キロ程 (km)	7 25.0	25
		終	小出営業所前	
	運行系統	主 経 田 地	шш	
	724	超	小干谷総合病院	
		運 条統名	小千谷~小出	
		中 梅語 中	第1号	包

$\overline{}$
梅
4
逐
⋖
規格
継
Ĥ
₩
Ш
$\overline{}$
Ŋ
1
_
無
Ħ
操
_

運行系統別輸送実績及び平均乗車密度算定表(令和5年度)

內铝

南越後観光バス株式会社

課長 関 正太 後任者役職・氏名 部長代理 武藤 後任者役職・氏名

> 乗合営業部乗合パス課 兼合宮業部

運行計画担当部門 補助金担当部門

事業者名

	罐		
	中・発をのと難ると難を回りを発しては、無く無く無くをは、まるない。	有・無	
	(A)	11.0	
	平均乗車 密度(B)/(C)/(F)/(F)	2.4	
	字 (F) (A) (E)	28.15	
平均乗車密度算定	適用 運賃改定後 適用 且数十の平均賃率×日数 総適用日数		
	運賃改定前 ; の平均賃率×	,	
経常費用	1系統当り 経常費用 (円)	27, 397, 257	27, 397, 257
	(B) + (D) + (E)	6, 192, 467	6, 192, 467
経常収益	顺 秦 安 (E) (五)	331, 080	331, 080
	運送雑収 (D) (円)	15, 830	15, 830
	実車走行 キ ロ (C) (km)	84, 250. 0	84, 250. 0
alm?	運送収入 (B) (円)	5, 845, 557	5,845,557
年間輸送実績	参 人 (人 たむ)	200, 757. 3	
	1 人 平 本 車 本 ロ (km)	7. 3	
	輸送人員 ^類 (人)	27, 501	27, 501
	(A) (A) (D)	4.6	
	キロ程 (km)	25.0	25
	※	小出営業所前	
運行系統	主 経由地		
運	型	小干谷総合病院 川	
	漸 系 行 名	小干谷~小出	
	中 梅 市 中	第5号 /	福

[記載要領]

1.の金額は、補助金条件間(補助金交付要網等に条で定める時間)の業種について、補助対象期間の末日現在における状態に応じて、運行系統ごとに作成すること(補助対象系統のみ記憶すること)。 2. 申請者告に、補助が表別間定年情報の申請者号と同一のものとすること。 3. 起点及び総合用できた「自動でを持てをとしている。 3. 起点及び総合用では、一定が表出の可能できた。 3. 出点点及し総合用できた「自動でするとのできた。 5. 以上等の業事とに、通行系がことに「最近に「他の表別でして、 6. は一定を以よ、して、日本のできた。 6. は一定を以よ、して、日本のできた。 6. は一定を以よ、して、日本のできた。 6. は一定を以よ、して、日本のできた。 7. 生産を以よ、して、日本のできた。 8. 要素でお子には、「他の表別に「ことが認って、ことでは、「他のます。 8. 要素でお子には、「他の表別に「ことが認って、ことでは、「他のます。」 9. 系統当とい経常素の言葉が表のは一定のり権でして、同じ上で、「他の表別に「こと」できた。 9. 系統当とい経常素のできた。 9. 系統当とい経常素のできた。 9. 系統当とい経常素別に「ことが認って、ことには、「他のます」でして、「他の表別に「ことに、「他の対象に関係をしている」できた。 9. 系統当とい経常素のできた。 9. 「系統当とい経常素別に「企びない下のり権でして、「他の語」のは、「他の。 9. 「不然当とい経常素のできた。」といるでは、「他の情報をして、ことには、「他のでは、

梅
4
壓
⋖
椝
辑
継
Н
₩
Ш
$\overline{}$
2
) -
Ī
第1-1

運行系統別輸送実績及び平均乗車密度算定表(令和6年度)

(###@m.f.g.) 部長代理 武藤 文昭 (###@m.f.g.) (###@m.f.g.)

乗合営業部乗合パス謀 (担当部門の名称) 乗合営業部(担当部門の名称)

運行計画担当部門 補助金担当部門

事業者名

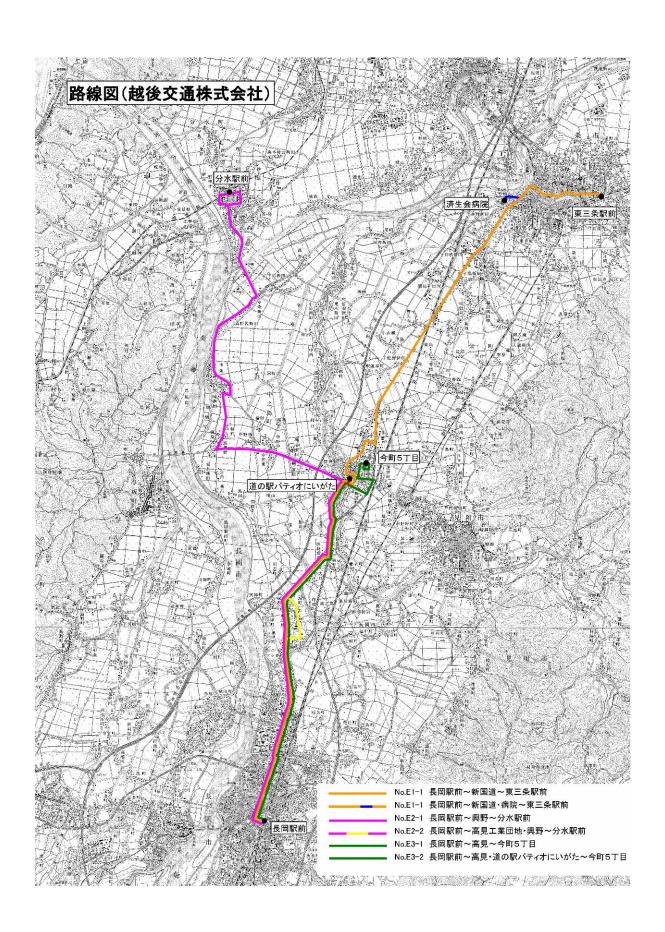
南越後観光バス株式会社

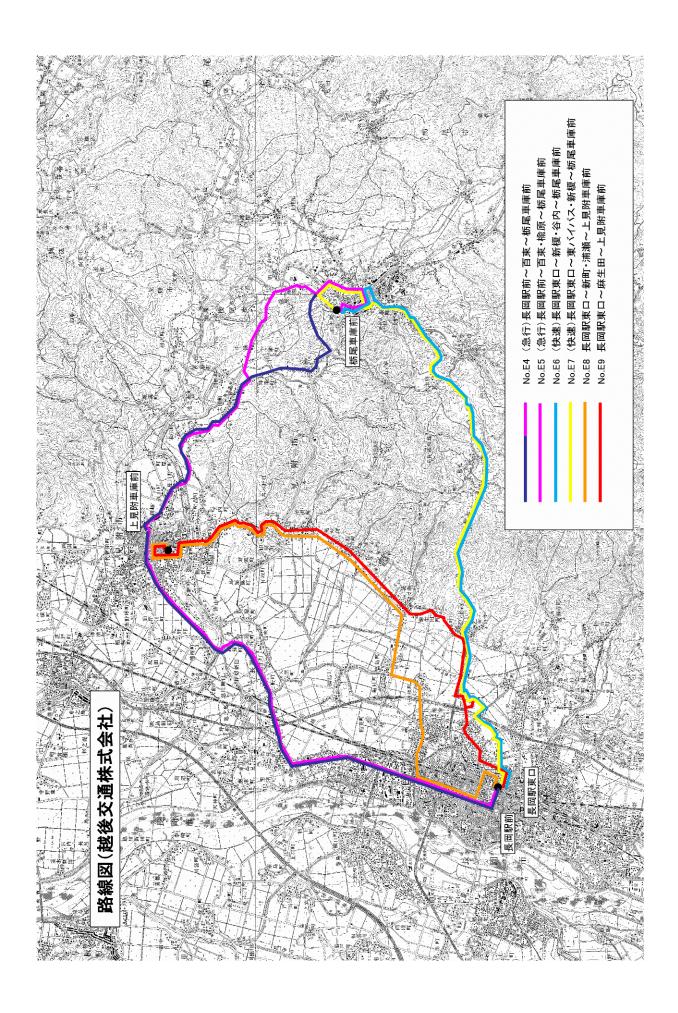
実施		析		
・9月13日		に数等に	(#)	
8 H · 9		市よ券の町の購有村回入無	4 有・	
10日・8月		輸送庫 (A) × (G)	12.	
1日・7月		平 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 (8) / (C) / (F) (G)	2.7	
日・6月1		中 (E) (E)	28. 15	
13日・12月13日・令和6年1月11日・2月9日・3月9日・4月14日・5月13日・6月11日・7月10日・8月8日	平均乗車密度算定	國政院前 適用 通信改形像 適用 年均實華×日数十の平均價華×日数 務適用日数		
ヨ・令和6年1月11	経常費用	1 系統当り 運(経営費用 <u>の3</u> (円)	22, 494, 390	22, 494, 390
町		計 (B)+(D)+(E)	5, 169, 514	5, 169, 514
15年10月10日·11	経常収益	が を (E) (E)	25, 547	25, 547
日 令和		運送雑収 (D) (円)	39, 486	39, 486
実態調査		実 車 走 ホ キ ロ (C) (を面)	65, 750.0	65, 750.0
	債	運送収入 (B) (円)	5, 104, 481	5, 104, 481
	年間輸送実	# 人 (人 ⁺ ロ)	176, 733. 0	
		1 人 七 均 乗車キロ (km)	7. 3	
		輸送人員 (人)	24, 210	24, 210
		画 回) (回)	4.6	
		キロ (Km)	25.0	25
		然	小出営業所前	
	運行系統	井 辞田 古	III	
		單	小干谷総合病院	
		運 系統名	小千谷~小出線	
		中 梅 晴	第5号	合計

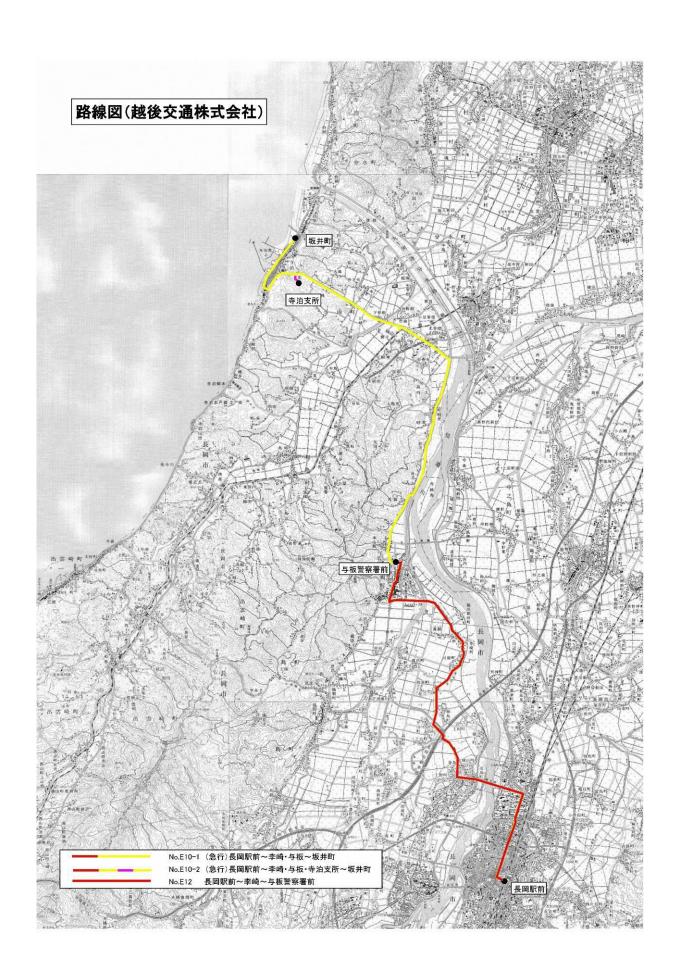
表3 運行回数3回以上の要件緩和を希望する系統の概要

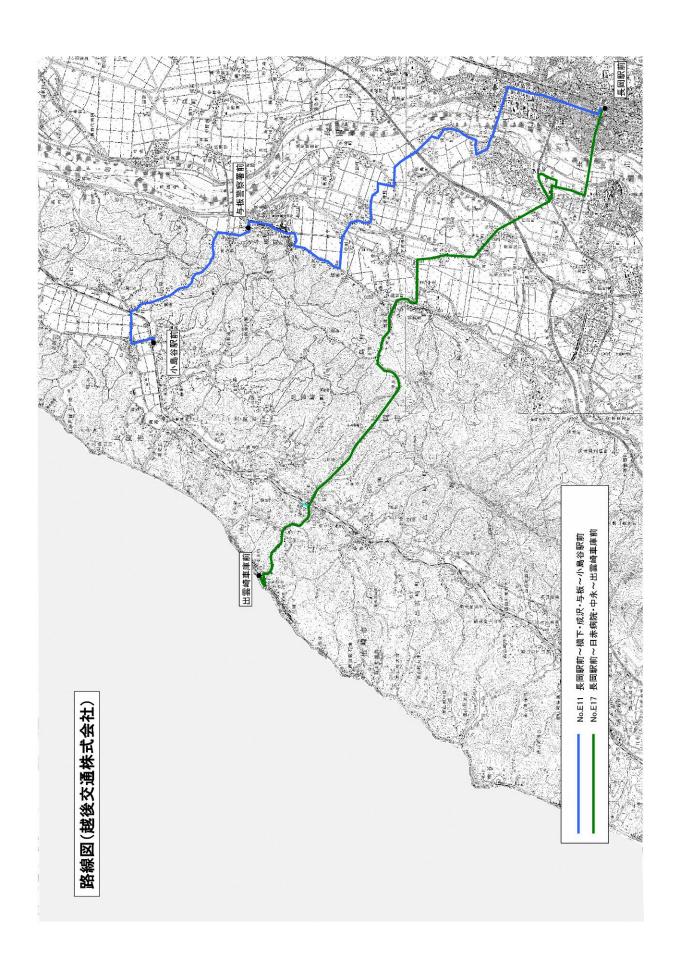
南越後観光バス株式会社

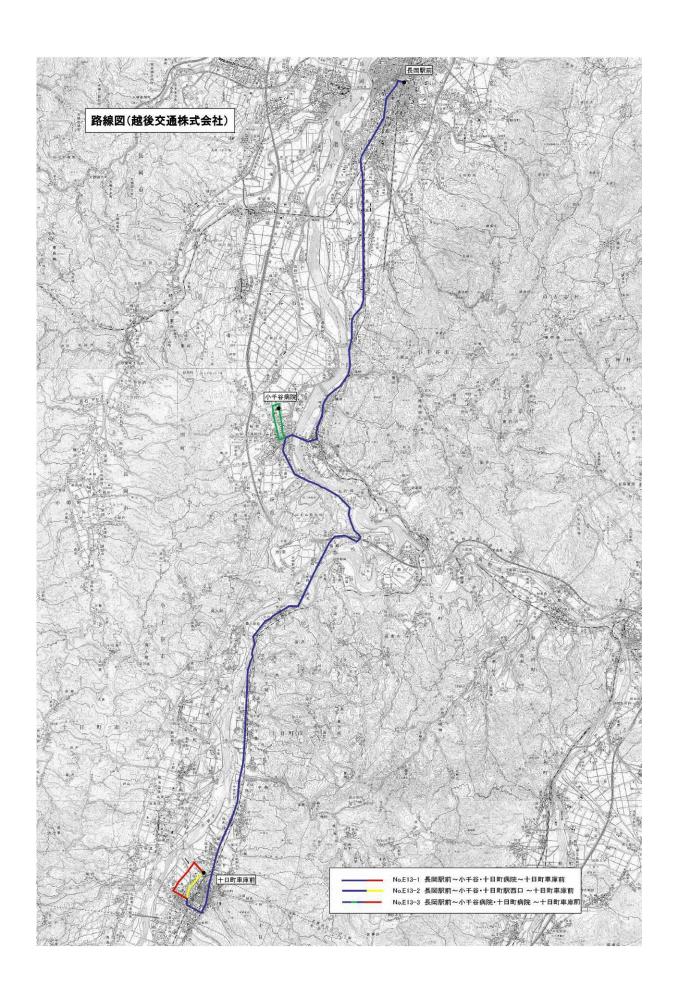
番号	系統名	理由	運行	回数
留写	术机 石	埋 田	土曜	日曜祝日
ME5	小千谷~小出	当該路線の利用者の大半は小千谷市内への通勤通学または小千谷総合病院への通院用途であり、土曜・日曜・祝 日を運休としても影響は少ないものと考えます。	0	0

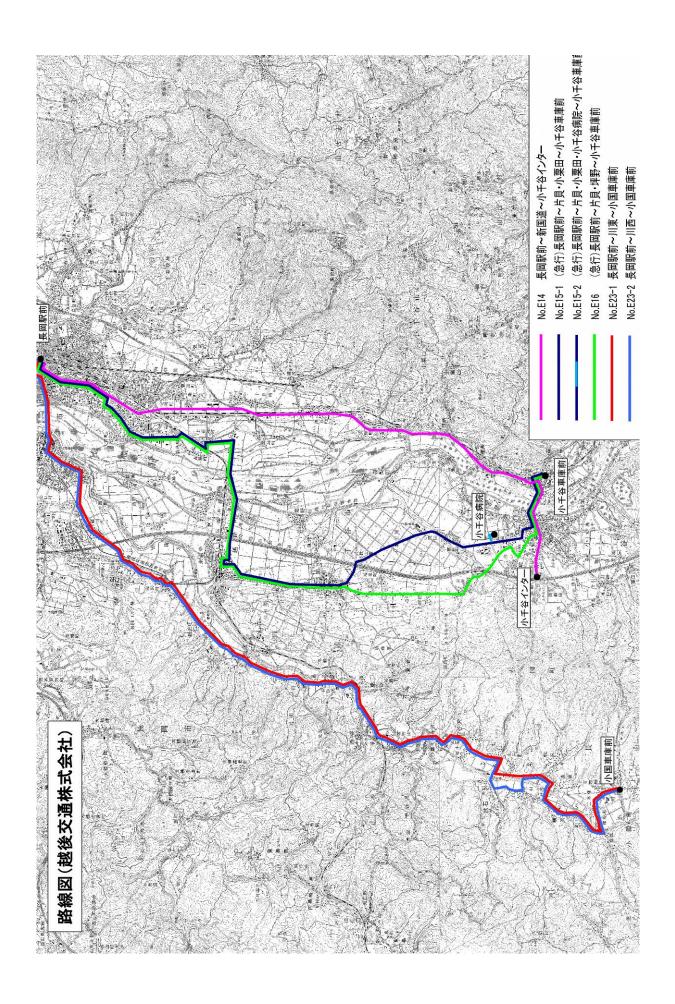


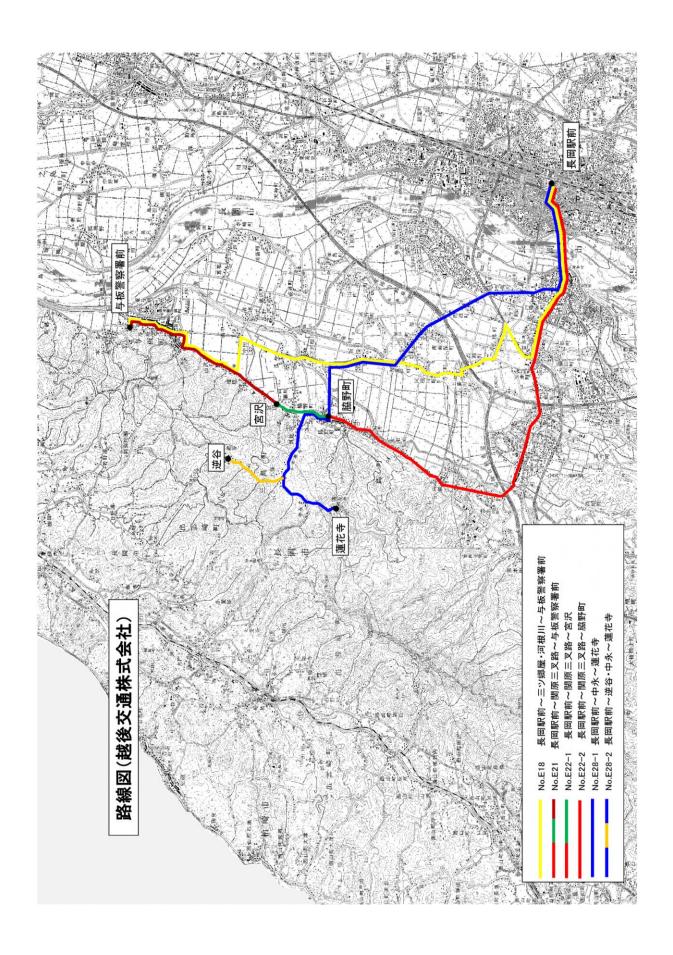


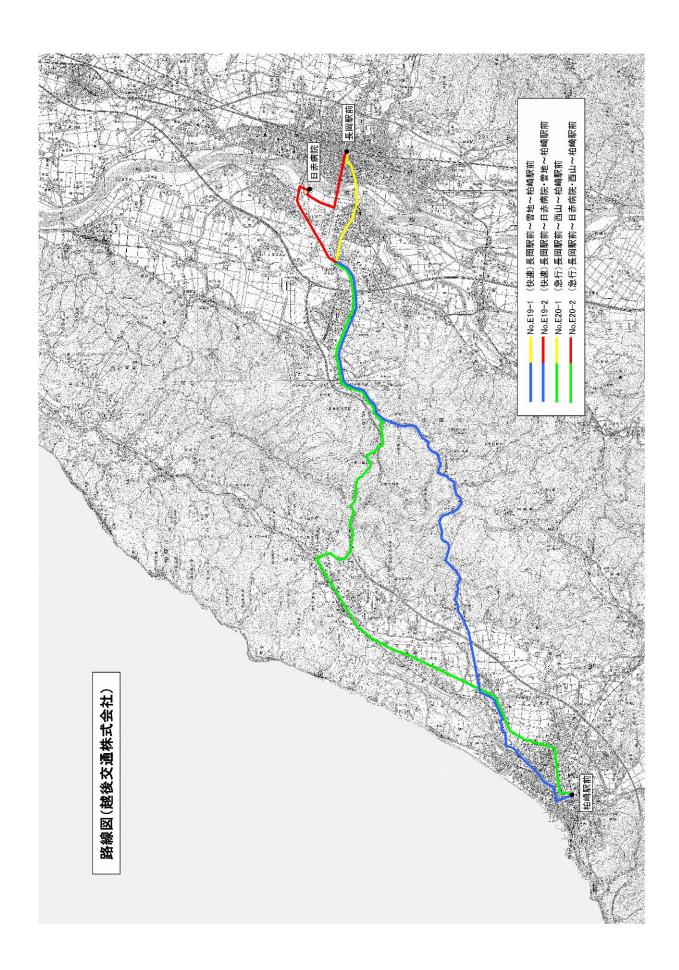


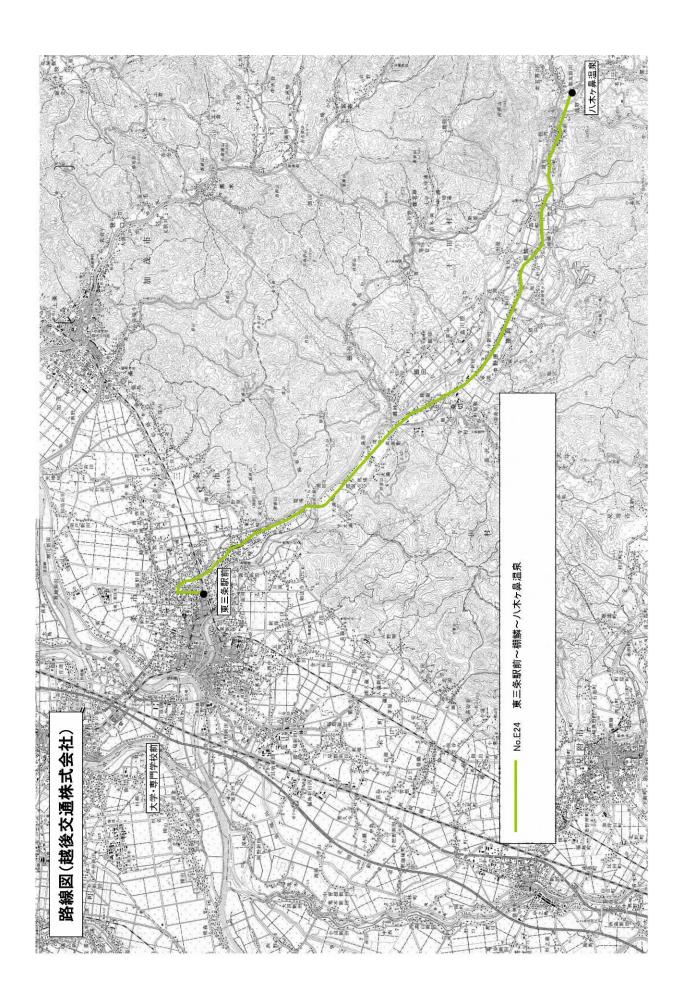


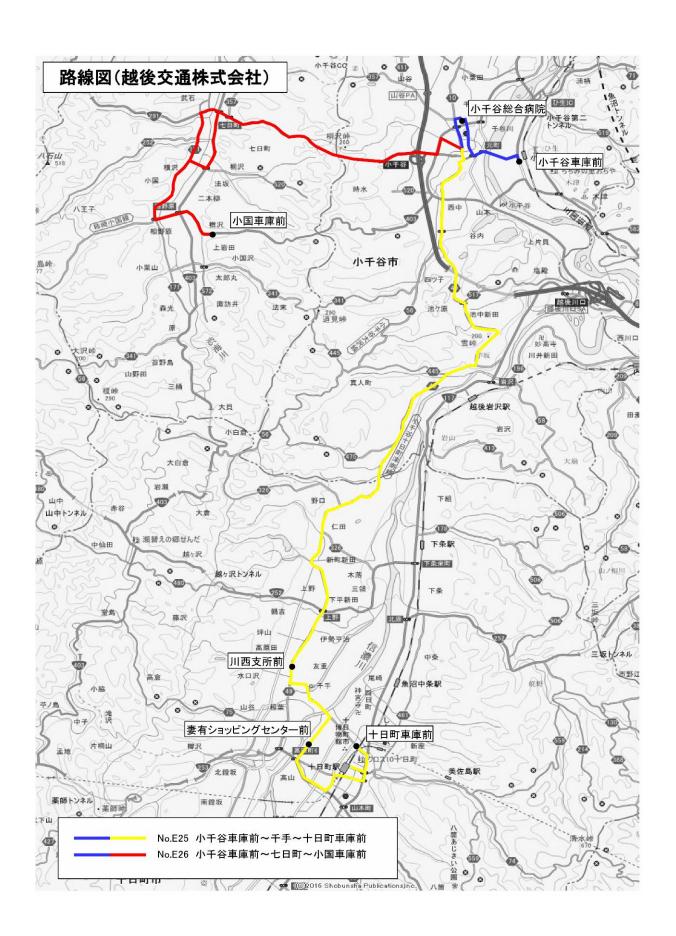


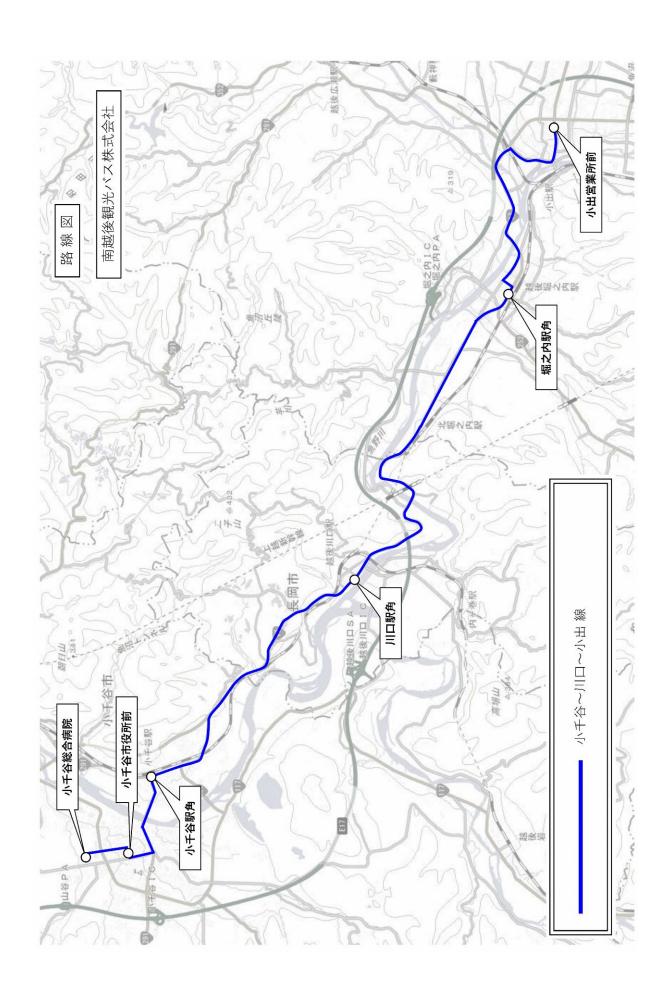












別紙 生産性向上の取組

1		1				!	4.1.但二张册		※辞毎の取組
都道府県	運行予定者名	梅巾	連行糸貎名	糸統毎の取組	取組の実施主体	効果目標	スケジュール	実施時期	11 March 20
	越後交通株式会社	ш	長国~三条	(a) (b)	越後交通株式会社	R6年度収支率101%の162.229円増加を目標	実施時期までに検討	令和8年春	つ国民権水
	越後交通株式会社	E2	長岡~分水	(a), (ii)	越後交通株式会社	R6年度収支率101%の170,117円増加を目標	実施時期までに検討	令和8年春	①複数系統を統合するなどによる輸送量の向上
	越後交通株式会社	83	坂陌~4町	S, 6, U	越後交通株式会社	R6年度収支率101%の75,946円増加を目標	実施時期までに検討	令和8年春	②運行経路(路線の短縮)の見直し(路線の短縮)
	越後交通株式会社	E4	(邻行)個国~結尾①	(i) (ii)	越後交通株式会社	R6年度収支率101%の220,547円増加を目標	実施時期までに検討	令和8年春	③コミュニティバスからの乗り継ぎ利便性の向上(系統見直し)
	越後交通株式会社	E5	(急行)長岡~栃尾②	(i) (ii)	越後交通株式会社	R6年度収支率101%の236,742円増加を目標	実施時期までに検討	令和8年春	④その告()
	越後交通株式会社	E6	(快速)長岡~栃尾①	@ (B)	超後交通株式会社	R6年度収支率101%の127,638円増加を目標	実施時期までに検討	令和8年春	機器やアル
	越後交通株式会社	E7	(快速)長岡~栃尾②	(i) (ii)	越後交通株式会社	R6年度収支率101%の147,991円増加を目標	実施時期までに検討	令和8年春	⑤酸合路線との時刻調整
	越後交通株式会社	8	長岡~見路①	®, (ll	超後交通株式会社	R6年度収支率101%の188,849円増加を目標	実施時期までに検討	令和8年春	⑥コミュニティバスからの乗り継ぎ利便性の向上(ダイヤ調整)
	越後交通株式会社	E9	長岡~見附②	(i) (ii)	越後交通株式会社	R6年度収支率101%の94,517円増加を目標	実施時期までに検討	令和8年春	①ダイヤ改正(路線パスとの乗継ダイヤの設定)
	越後交通株式会社	E10	炽带~ 匯邮	® (I)	越後交通株式会社	R6年度収支率(試算)101%の369,805円増加を目標	実施時期までに検討	令和8年春	◎その告()
	越後交通株式会社	E	長岡~小島谷	(i) (ii) (ii) (ii) (ii) (ii) (ii) (ii)	越後交通株式会社	R6年度収支率101%の123,740円増加を目標	実施時期までに検討	令和8年春	⑤物済事業者と連携した貨物輸送
	越後交通株式会社	E12	長岡~与极①	®, (ll	超後交通株式会社	R6年度収支率(試算)101%の120,191円増加を目標	実施時期までに検討	令和8年春	⑤物流事業者と連携した貨物輸送
新潟県	越後交通株式会社	E13	届日十~图函	®, (II	超後交通株式会社	R6年度収支率101%の379,881円増加を目標	実施時期までに検討	令和8年春	働その他 ()
(東国市)	越後交通株式会社	E14	長岡~小千谷①	©, (II	超後交通株式会社	R6年度収支率101%の105,289円増加を目標	実施時期までに検討	令和8年春	
	越後交通株式会社	E15	長岡~小千谷②	(E) (E)	超後交通株式会社	R6年度収支率101%の365,664円増加を目標	実施時期までに検討	令和8年春	(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)
	越後交通株式会社	E16	長岡~小千谷③	@` (B	超後交通株式会社	R6年度収支率101%の113,252円増加を目標	実施時期までに検討	令和8年春	⑪1日乗り放題券の活用による輸送人員の拡大
	越後交通株式会社	E17		®, (II	超後交通株式会社	R6年度収支率101%の172,095円増加を目標	実施時期までに検討	令和8年春	⑫ノーマイカーデーを実施し実施日は1割引きの運賃を設定
	越後交通株式会社	E18	長岡~与板②	©, (II	越後交通株式会社	R6年度収支率101%の99,731円増加を目標	実施時期までに検討	令和8年春	(③)Cカードの普及促進
	超後交通株式会社	E19	長岡~柏崎①	(i) (ii) (ii) (ii) (ii) (ii) (ii) (ii)	超後交通株式会社	R6年度収支率101%の260,263円増加を目標	実施時期までに検討	令和8年春	(3)免許適納者に対する割引を導入し利用促進
	越後交通株式会社	E20	長岡~柏崎②	®, (ll	超後交通株式会社	R6年度収支率101%の267,772円増加を目標	実施時期までに検討	令和8年春	⑤乗継割引実施により利便性を向上させ利用促進
	越後交通株式会社	E21	長岡~与板③	®, (ll	超後交通株式会社	R6年度収支率101%の112,540円増加を目標	実施時期までに検討	令和8年春	⑥その告()
	越後交通株式会社	E22	長岡~宮沢	@ (B)	超後交通株式会社	R6年度収支率101%の121,506円増加を目標	実施時期までに検討	令和8年春	ノムント、 善光、 石 布 制 仮
	越後交通株式会社	E23	長岡~小国	(a) (l)	越後交通株式会社	R6年度収支率101%の244,362円増加を目標	実施時期までに検討	令和8年春	①観光施策との連携による利用促進
	越後交通株式会社	E26	小干谷~小国	(i) (ii)	超後交通株式会社	R6年度収支率101%の77,027円増加を目標	実施時期までに検討	令和8年春	(®子供向けの「乗り方教室」、 老人クラフを対象に高齢者向1F「乗り方教室」を実施
	越後交通株式会社	E28	長岡~蓮花寺	@ (B)	越後交通株式会社	R6年度収支率101%の66,884円増加を目標	実施時期までに検討	令和8年春	⑤磨業諸段のイベントが連携した離慶最超
	南越後観光バス株式会社	ME5	小千谷~小出	© '9	南越後観光バス株式会社	運送費用の削減、関係路線と連携に輸送人員増 南越後親光パス株式会社加に努め、1%以上の収支改善を目標とする。	令和8年1月頃までに検討	令和8年4月実施予定	⑤広告(ポスター、車体ラッピング) による収入措
		1							②バス路線マップの作成及び配布による利用促進

様式第1-1(日本産業規格A列4番)

地域内フィーダー系統

長交協第 号 令和 年 月 日

国土交通大臣 殿

氏名又は名称 長岡市地域公共交通協議会住 所 新潟県長岡市大手通2丁目6番地代表者氏名 会長 太刀川 芳則

地域公共交通計画認定申請書

地域公共交通計画のうち、地域公共交通確保維持事業に係る計画を別紙のとおり定めたので、関係書類を添えて申請します。

※本申請書に、記載すべき事項を全て記した地域公共交通計画を添付すること。

令和 年 月 日

(名称) 長岡市地域公共交通協議会

1. 地域公共交通確保維持事業に係る目的・必要性

長岡市内は、鉄道4路線(信越本線、上越線、越後線、飯山線)が通っており、加えて 長岡駅を中心として、放射状にバスを運行している。各方面への基幹路線は整備され、長 岡駅との往来手段は確保されている。しかし、バス利用者の減少に伴い、行政負担が増え る傾向にある。このため、特に利用者が少なく、採算が見込めない郊外バス路線の維持が 困難となり、市民のニーズに対応できなくなってきている。

さらに長岡市では、少子高齢化の進行、道路網の変化や基幹病院の移転など、公共交通 及びその利用者を取り巻く環境が変化している。また、高齢者の運転免許返納者数は増加 傾向であることから、公共交通網の形成がより一層求められている。

これらの状況の変化を受けて、まちづくりとの連携や地域全体を対象とした多面的な公 共交通網の再構築を検討するため、令和5年3月に「長岡市地域公共交通計画」を策定し、 地域公共交通確保維持事業により、住民の生活交通手段を存続させていくことが必要であ る。

《栃尾地域》

栃尾地域においては、高齢化率約47%(R7住民基本台帳)かつ過疎地域であり、鉄道が通っていないため、路線バスが重要な移動手段であった。しかし、令和元年9月及び令和3年3月に一部地域でバス路線が廃止され、更に令和5年3月には長岡駅と往来する基幹バス路線を除き全域で廃止された。栃尾地域は、中心部から10km以上離れたところにも集落が広がっており、一般乗用タクシーを利用した場合、買物や通院などの日常利用においても、住民の経済的負担が大きいことから、公共交通の確保・維持が必要不可欠である。

また、基幹バス路線により長岡駅と接続することで、地域外への移動も可能となり、その利用目的は、通勤・通学・買物・通院と多岐にわたっている。

このため、西谷地区では令和元年10月から、塩谷地区・東谷地区では令和5年3月から、廃止されたバス路線沿線住民の生活交通手段を確保するために、それぞれデマンド型乗合タクシーの実証運行を開始した。この間、運行時間や経路の見直し等、利便性の向上及び利用促進に向けた啓発を図り、安定した運行に繋げることとした。更に西谷地区では、市内でも有数の豪雪地帯であるため、当該エリアの運行状況を冬季2シーズン、1年半の期間を設けて実証運行を行い、運行を随時見直すこととした。また、利用者が多い時間帯がみられたため、令和3年4月からの本格運行では利用者が比較的多い1便を、2便に分割して運行している。塩谷地区・東谷地区では、令和元年9月に一部地域で路線バスが廃止され、空白となっていた地域があった。令和5年3月からの実証運行ではそれらの地域もカバーすることで、より広域的な公共交通の利用を可能とし、令和5年10月から本格運行している。

以上のことから、主に自動車での移動が困難である高齢者等の利用者にとって、生活交通の確保は必要不可欠であり、他に代替する公共交通手段が存在しないことから、現在実施しているデマンド型乗合タクシーの運行を今後も確保・維持し、住民の生活交通手段を存続させていくことが必要である。

《寺泊·和島地域》

寺泊・和島地域においては、高齢化率約43%(R7住民基本台帳)かつ過疎地域である。和島地域においては、公共交通は長岡駅に乗り入れていないJR越後線及び路線バス1系統のみであり、寺泊地域においては、公共交通は長岡駅に乗り入れていないJR越後線及び長岡駅行の路線バス1系統、燕市方面行のバス1系統となっている。いずれの地域も他地域への移動を担う幹線的な公共交通が存在する一方、公共交通空白地が広く連担しており、近隣の駅やバス停から遠く、公共交通を利用しにくい集落が分布しているため、

自宅から公共交通を利用できる地点までの移動手段を確保する必要がある。

さらに、和島地域では地域内で唯一のタクシー事業者が平成26年に廃業し、一般乗用タクシーを利用する際は近隣地域のタクシー事業者を利用することとなるが、近隣地域のタクシー事業者は保有車両数が少ない。バス路線は、鉄道駅や行政施設のある和島地域中心部と長岡駅を結ぶが、病院、商業施設等は点在していることから、自家用車の利用のみに頼らず、高齢化が進行しているため公共交通を確保・維持していく必要がある。

このため、令和2年10月から和島地域内と与板地域の一部を運行するデマンド型乗合タクシーの実証運行を開始し、地域住民の移動手段の確保を図った。また、与板地域から長岡駅へは基幹バス路線により接続することで、地域外や長岡市中心部への移動も可能となった。一方、和島地域へのアクセスは、長岡駅から小島谷駅まで路線バスで移動し、そこからデマンド型乗合タクシーを利用するなど、交通手段を組み合わせて利用する方がいることも確認できている。

寺泊地域では、高齢者のみの世帯が増加し、公共交通空白地も広く、移動手段の確保が懸念されていた。令和2年8月に地域から要望があり、公共交通空白地の生活交通のあり方について検討を始め、令和3年10月から寺泊地域内と燕市分水地区を運行するデマンド型乗合タクシーの実証運行を開始した。また、元来寺泊地域は、通勤・買物・通院などで隣接する燕市への移動頻度が高い地域である。燕市への移動手段は鉄道及び路線バスで確保されているが、本数が限られていることに加え、駅やバス停から遠い住民は利用しにくい。デマンド型乗合タクシーを含め様々な交通手段を組み合わせることで移動をしやすくし、さらに燕市分水地区から三条市行のバス路線や、燕市の生活交通(コミュニティバス、デマンドタクシー)と接続することで、広域的な移動が可能となる。既存の鉄道・路線バス等と補完し合い、住民の移動に係る利便性を高めることで、各公共交通の利用者増加を図ることができると考える。

また、令和4年10月からデマンド型乗合タクシーの運行を、寺泊地域、和島地域で統合したことにより移動可能範囲が拡大し、これまで利用できなかったエリアへ移動する利用者も見られ、利便性、乗合率を高めた効率的な運行ができている。新たな需要の創出により更に既存の鉄道・路線バスと補完し合う交通手段として機能することが期待される。

以上のことから、主に自動車での移動が困難である高齢者等の利用者にとって、生活交通の確保は必要不可欠であり、他に代替する公共交通手段が存在しない公共交通空白地を広く含んでいることから、現在実施しているデマンド型乗合タクシーの運行を今後も確保・維持し、住民の生活交通手段を存続させていくことが重要である。

2. 地域公共交通確保維持事業の定量的な目標・効果

(1)事業の目標

《栃尾地域乗合タクシー》

西谷線

令和8年度: 乗合タクシーの利用者を一月あたり480人以上とする。(R5.10~R6.9の

月平均:472人)

収支率を23.2%以上とする。(R5.10~R6.9の実績:23.2%)

国からの支出を 2,813 千円以内、長岡市からの支出を 2,814 千円以内とする。(令和6年度実績額: 国2,813千円、長岡市2,814千円)

令和9年度:乗合タクシーの利用者を一月あたり490人以上とする。

令和 10 年度:稼働率、利用者数を高め、運賃収入を平均 160,000 円/月以上とすること

で財政負担率を下げる。(R5.10~R6.9の月平均:155,500円)

(参考)

令和3年4月~令和7年4月の月平均値

利用者 421 人/月、稼働率 85.1%、運賃収入 138,289 円/月

塩谷線

令和8年度:乗合タクシーの利用者を一月あたり370人以上とする。(R5.10~R6.9の 月平均:363人)

ョー写:303 人) - 収支率を 20.8%以上とする。(R5.10~R6.9 の実績:20.8%)

国からの支出を 2,502 千円以内、長岡市からの支出を 2,502 千円以内とする。(令和6年度実績額:国2,502 千円、長岡市2,502 千円)

令和9年度:乗合タクシーの利用者を一月あたり380人以上とする。

令和 10 年度: 稼働率、利用者数を高め、運賃収入を平均 130,000 円/月以上とすること

で財政負担率を下げる。(R5.10~R6.9の月平均:120,291円)

(参考)

令和5年10月~令和6年4月の月平均値

利用者 338 人/月、稼働率 90.7%、運賃収入 112,892 円/月

東谷線

令和8年度:乗合タクシーの利用者を一月あたり320人以上とする。(R5.10~R6.9の 月平均:319人)

収支率を 23.6%以上とする。(R5.10~R6.9の実績: 23.6%)

国からの支出を 1,704 千円以内、長岡市からの支出を 1,705 千円以内とする。(令和6年度実績額:国1,704 千円、長岡市1,705 千円)

令和9年度:乗合タクシーの利用者を一月あたり330名以上とする。

令和10年度:稼働率、利用者数を高め、運賃収入を平均100,000円/月以上とすること

で財政負担率を下げる。(R5.10~R6.9の月平均:97,441円)

(参考)

令和5年10月~令和6年4月の月平均値 利用者315名/月、稼働率72.4%、運賃収入97,441円/月

《寺泊・和島地域乗合タクシー》

令和8年度: 乗合タクシーの利用者を一月あたり270名以上とする。(R5.10~R6.9の 月平均:253名)

収支率を 6.6%以上とする。(R5.10~R6.9の実績: 6.6%)

国からの支出を 2,431 千円以内、長岡市からの支出を 8,063 千円以内とする。(令和6年度実績額: 国2,431千円、長岡市8,063千円)

令和9年度:乗合タクシーの利用者を一月あたり280名以上とする。

令和 10 年度:稼働率、利用者数を高め、運賃収入を平均 80,000 円/月以上とすること

で、財政負担率を下げる。(R5.10~R6.9:月平均:68,550円)

(参考)

令和4年10月~令和7年4月の月平均値 利用者264名/月、稼働率85.6%、運賃収入72,484円/月

(長岡市地域公共交通計画 P79~P85、P88参照)

(2) 事業の効果

《栃尾地域乗合タクシー》

- ・公共交通空白地の高齢者や、マイカーを所有していない住民の移動手段を確保できる。
- ・病院、小規模ショッピングセンター、工業団地、栃尾支所(市役所)等の近くに停留所 を設けることで、幅広い目的での利用が期待できる。
- ・長岡市中心部と往来する基幹バス路線との接続により、広域的な移動がしやすくなる。
- ・路線バスが運行していなかった地域を対象とすることで、公共交通の新規利用者の増加 が見込める。

《寺泊・和島地域乗合タクシー》

- ・公共交通空白地の高齢者や、マイカーを所有していない住民の移動手段を確保できる。
- ・病院、スーパーマーケット、公共施設等の近くに停留所を設けることで、幅広い目的で の利用が期待できる。
- ・長岡市中心部と往来する基幹バス路線や近隣の燕市分水地区へ接続し、さらに既存の公 共交通と補完し合うことで公共交通の利便性を高め、市域に捉われない広域的な移動が しやすくなる。

3. 2. の目標を達成するために行う事業及びその実施主体

- ・運行状況や利用者のニーズなど、地域の実状を踏まえ、必要に応じて運行内容の見直し を検討する。(長岡市、事業者)
- ・高齢者に対し地域生活交通 (デマンド型乗合タクシー) の乗り方教室の実施。 (長岡市、事業者)
- ・利用者から活用事例を聞き取り、さまざまな活用事例を市民に発信し、利用促進を図る。 (長岡市)
- ・来訪者や高齢者等に対して窓口での案内強化やSNS等の情報発信ツールを活用した PRを行う。(長岡市)

(長岡市地域公共交通計画 P88、P92参照)

4. 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統の概要及び 運送予定者

表 1 を添付。

燕市の一部地域は、「寺泊・和島地域デマンド型乗合タクシー」の運行区域となっているが、 補助対象系統である「寺泊・和島地域デマンド型乗合タクシー」に係る補助(費用負担)」 を行っておらず、住民の利用実態もないため、当該自治体の公共交通計画において、「寺泊・ 和島地域デマンド型乗合タクシー」は位置づけていない。

- 5. 地域公共交通確保維持事業に要する費用の総額、負担者及びその負担額
- 運行経費から、運行収入及び国庫補助金を差し引いた額を長岡市が負担する。

6. 2. の目標・効果の評価手法及び測定方法

- ・1年ごとに事業の実施状況や可能な評価指標値を整理し、計画の進捗確認と効果の検証・ 評価実施
- ・利用者アンケート(車内聞き取りアンケート等)

(長岡市地域公共交通計画 P85参照)

7. 別表1の補助対象事業の基準ホただし書に基づき、協議会が平日1日当たりの 運行回数が3回以上で足りると認めた系統の概要

【地域間幹線系統のみ】

該当なし

8. 別表1の補助対象事業の基準二に基づき、協議会が「広域行政圏の中心市町村に準ずる生活基盤が整備されている」と認めた市町村の一覧

【地域間幹線系統のみ】

該当なし

9. 生産性向上の取組に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及 びその他特記事項

【地域間幹線系統のみ】

該当なし

10. 地域公共交通確保維持改善事業を行う地域の概要

<u>【地域内フィーダー系統のみ】</u>

表5を添付。

11. 車両の取得に係る目的・必要性

【車両減価償却費等国庫補助金・公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けよ うとする場合のみ】

該当なし

12. 車両の取得に係る定量的な目標・効果

【車両減価償却費等国庫補助金・公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けよ うとする場合のみ】

(1) 事業の目標

該当なし

(2) 事業の効果

該当なし

13 車両の取得計画の概要及び車両の取得を行う事業者又は地方公共団体、要する費用の総額、負担者とその負担額 【車両減価償却費等国庫補助金・公有民営方式 車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】

該当なし

14. 老朽更新の代替による費用の削減等による地域公共交通確保維持事業における 収支の改善に係る計画(車両の代替による費用削減等の内容、代替車両を活用した利用促進策)

【公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】

該当なし

15. 貨客混載の導入に係る目的・必要性

【貨客混載導入経費国庫補助金を受けようとする場合のみ】

該当なし

16. 貨客混載の導入に係る定量的な目標・効果

【貨客混載導入経費国庫補助金を受けようとする場合のみ】

(1) 事業の目標

該当なし

(2) 事業の効果

該当なし

17. 貨客混載の導入に係る計画の概要、要する費用の総額、内訳、負担者及び負担額【貨客混載導入経費国庫補助金を受けようとする場合のみ】

該当なし

18. 協議会の開催状況と主な議論

《栃尾地域(西谷線)における生活交通について》

- ・令和2年6月10日 道路運送法第4条に基づく本格運行(令和3年4月1日~)に向けた、計画概要について説明した。また、地域内フィーダー系統確保維持計画書(案)について承認を得た。
- ・令和2年11月25日 実証実験の実績報告を行い、本格運行の概要について説明した。 また、事業者を決定し、今後道路運送法第4条申請の提出及び、 地域内フィーダー系統確保維持計画書の変更届出(案)を行うこ とについて、承認を得た。
- ・ 令和3年6月29日 令和4年度地域内フィーダー系統確保維持計画書(案)について承認を得た。
- ・令和4年2月22日 令和4年度地域内フィーダー系統確保維持計画変更認定申請(案) (協議会を補助対象事業者に変更すること)について承認を得た。
- ・令和4年6月24日 令和5年度地域内フィーダー系統確保維持計画書(案)について承認を得た。

《栃尾地域(西谷線、塩谷線、東谷線)における生活交通について》

- ・令和5年6月14日 道路運送法第4条に基づく本格運行(令和5年10月1日~)に向けた、計画概要について説明した。また、令和6年度地域内フィーダー系統確保維持計画書(案)について承認を得た。
- ・令和6年6月26日 地域公共交通計画認定申請書について承認を得た。 長岡市地域公共交通計画の変更について承認を得た。

《寺泊・和島地域における生活交通について》

- ・令和3年2月25日 和島地域運行実績経過報告及び令和3年度事業計画案について、 意見交換を行った。
- ・令和3年6月29日 道路運送法第4条に基づく和島地域本格運行(令和3年10月1日 ~)に向けた、計画概要について説明した。また、令和4年度地域 内フィーダー系統確保維持計画書(案)について承認を得た。 道路運送法第21条に基づく、寺泊地域実証運行(令和3年10月1日~令和4年9月30日)の内容について説明し、合意を得た。
- ・令和4年2月22日 寺泊地域運行実績経過報告及び令和4年度事業計画案について、書面協議による意見交換を行った。また、令和4年度地域内フィーダー系統確保維持計画変更認定申請(案)(協議会を補助対象事業者に変更すること)について承認を得た。
- ・令和4年6月24日 道路運送法第4条に基づく寺泊地域本格運行(令和4年10月1日 ~)に向けた、計画概要について説明した。また、令和5年度地域 内フィーダー系統確保維持計画書(案)について承認を得た。
- ・ 令和5年6月14日 令和6年度地域内フィーダー系統確保維持計画書(案)について承認を得た。
- ・ 令和 6 年 6 月 26 日 地域公共交通計画認定申請書について承認を得た。 長岡市地域公共交通計画の変更について承認を得た。
- ・ 令和7年6月27日 地域公共交通計画認定申請書について承認を得た。

19. 利用者等の意見の反映状況

協議会の構成員には公共交通利用者も含まれ、協議会での意見を参考に計画している。 栃尾地域乗合タクシーについては、地域の住民の意見を反映させるため、実証運行中 である令和2年2月に、実際に乗合タクシーを利用している方からアンケートに協力し てもらった(対象:21名)。結果を運行計画作成の参考とした。

廃止が決定した路線バスの利用者ニーズを把握するため、市職員による乗降調査及び 聞き取りを実施した。(令和2年6月、令和4年2月)

和島地域乗合タクシーについては、地域住民を構成員に含む和島地域生活交通検討委員会において運行内容等協議し、計画に意見を反映している。また、実証運行中である令和2年9月に、長岡技術科学大学都市交通研究室協力のもと地域住民を対象としたアンケート調査(配布戸数 1,249 戸、回収数 658 戸)を行い、結果を運行計画作成の参考とした。

寺泊地域乗合タクシーについては、地域住民を構成員に含む寺泊地域生活交通検討委員会を定期的に開催し意見を伺っている。また、意見を基に実証実験開始後燕市分水地 区乗り入れ停留所を2地点から5地点に増設した。

寺泊地域・和島地域が統合してからは、令和5年度に利用促進のため、電話や冷蔵庫 に貼る乗合タクシーのシールを作成し、地域内に配布した。令和6年度、改めて事業周 知を図るために、チラシ・ポスターを作成し、地域内の施設・店舗等へ掲示を依頼した。

【本計画に関する担当者・連絡先】

(住 所) 新潟県長岡市大手通2丁目6番地 フェニックス大手イースト8F

(所 属) 長岡市都市整備部都市政策課交通政策室

(氏 名) 長谷川 誠

(電話) 0258-39-2267

(e-mail) koutuu@city.nagaoka.lg.jp

注意: 本様式はあくまで参考であり、補助要綱の要件を満たすものであれば、この 様式によらなくても差し支えありません。

実際の計画作成に当たっては補助要綱等を踏まえて作成をお願いいたします。

各記載項目について、地域公共交通利便増進実施計画及び地域旅客運送サービス継続実施計画を作成している場合には、当該計画から該当部分を転記したり、別添〇〇計画△節のとおり、等として引用したりすることも可能です。(ただし、上記2.・3. については、地域公共交通利便増進実施計画及び地域旅客運送サービス継続実施計画に定める目標、当該目標を達成するために行う事業及びその実施主体に関する事項との整合性を図るようにして下さい。また、地域公共交通計画全体として、協議会における協議が整った上で提出される必要があります)。

※該当のない項目は削除せず、「該当なし」と記載して下さい。

R8年度

表1 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統の概要及び運送予定者(地域内フィーダー系統)

		调行区站及笙		運行系統		84	画	中国	利便増進	運送継続		地域内フィー (別表7・	地域内フィーダー系統の基準適合 (別表フ・別表9・別表10)	
	運送予定者名	たこががこす	起点	経由地	終	キロ程	連 行 教	運回行数	u 特例措置	《 株 例 措 置	運行態様の別	基準ハで該 当する要件 (別表7・9)	補助対象地域間幹 線系統等と接続の確 保	基準木で該当 する要件 (別表7のみ)
寺泊交通(㈱		(1) 寺泊・和島地域 ブマンド型乗合タクシー		寺泊、和 島地域		往 後 km	141日	1410回		i Di	区域運行	1	与极仲町/公停で補助对象地域間幹線系統 長 图原柳一半峰,与板=扳井町線並分4系統 と撞機。 顯市分末リアβ/公停で補助対象 地域間幹線系統 長國駅前 = 興野・分水駅 前線往路線	3
ı	秋葉タクシー(株)	(2) 析尾地域 デマンド型乗合タクシー		西谷地区ほか		台 を R R B	362日	2172回		Δ.	区域運行	①	栃尾車庫前パス停で補助対象地域間幹線系 統(急行)長岡駅前=百束=栃尾車庫前線ほ かる系統と接続	®
Į	秋葉タクシー(株)	(3) 析尾地域 デマンド型乗合タクシー		塩谷地区ほか		往 後 km	362⊟	2172回			区域運行	①	奶尾車庫前パス停で補助対象地域間幹線系 統(急行) 長岡駅前=百束=栃尾車庫前線ほ かる系統と接続	(3)
Į	析尾タクシー(株)	(4) 析尾地域 デマンド型乗合タクシー		東谷地区ほか		往 後 km	362⊟	2172回			区域運行	①	奶尾車庫前パス停で補助対象地域間幹線系 統(急行)長回駅前=百束=栃尾車庫前線正 かる系統と接続	3
		(9)				往 後 km	Ш							

(世

1. 乗用タクシーによる運行の場合は、「運行系統名等」に運賃低廉化を行う運行サービスの名称を記載すること。

2. 区域運行又は乗用タケシーによる運行の場合は、運行系統の「経由地」に営業区域又は運賃低廉化対象地域を記載することとし、「起点」、「終点」及び「系統キロ程」について記載を要しない。

3. 「系統キロ程」については、小数点第1位(第2位以下切り捨て)まで記載すること。なお、循環系統の場合には、住又は復のどちらかの欄にキロ程を記載し、もう片方の欄に循環」と記載すること。

4.「利便増進特例措置」及び「運送継続特例措置」については、利便増進計画又は運送継続計画の認定を受け、地域内フィーダー系統に係る特例措置の適用(別表9又は別表10)を受けて補助対象となる場合のみ「〇」を記載すること。

5.「運行態様の別」については、路線定期運行、路線不定期運行、区域運行、乗用タケン一による運行の別を記載すること。

6.「補助対象地域間幹線系統等と接続の確保」については、地域内フィーダー系統が接続する補助対象地域間幹線系統又は地域間交通ネットワークとどのように接続を確保するかについて記載すること。

7. 乗用タクシーによる運行の場合は、「運行系統名」「利便増進特例措置」について記載を要しない。

8. 本表に記載する運行予定系統を示した地図及び運行ダイやを添付すること。乗用タクシーによる運行の場合は、営業区域を示した地図を添付すること。

表5 地域公共交通確保維持改善事業を行う地域の概要

(単位:人)

	<u> </u>
	人口
人口集中地区以外	136,064
交通不便地域等	38,448

交通不便地域等の内訳

(週1) 医地球サッドが		
人口	対象地区	根拠法
16440	栃尾地域(旧栃尾市)	過疎地域
3676	和島地域(旧和島村)	過疎地域
809	山古志地域(旧山古志村)	過疎地域
4087	川口地域(旧川口町)	過疎地域
4742	小国地域(旧小国町)	過疎地域
8694	寺泊地域(旧寺泊町)	過疎地域

地域公共交通計画、地域公共交通利便増進実施計画、地域旅客運送サービス継続実施計画の策定年月日及び 特例適用開始年度

計画名	策定年月日	特例適用開始年度
長岡市地域公共交通計画	令和5年3月3日	

(1)記載要領

- 1. 人口は最新の国勢調査結果を基に記載すること。ただし、地方運輸局長等が指定する交通不便地域の場合は、申請する年度の前年度の3月末現在の住民基本台帳を基に記載すること。
- 2. 「人口集中地区以外」の欄は、国勢調査結果により設定された人口集中地区に該当しない地区の人口を記載すること。
- 3. 「交通不便地域等」の欄は、地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱(以下、「交付要綱」という。)の別表7(ハ②(1))に記載のある過疎地域の人口、交付要綱別表7(ハ②(2)(実施要領の2.(1)⑪))に基づき地方運輸局長等が指定する交通不便地域の人口及び交付要綱別表7リに基づき地方運輸局長等が認める地域の合計(重複する場合を除く)を記載すること。
- 4. 「対象地区」の欄には、当該市町村の一部が交付要綱別表7(ハ②(1))に掲げる法律(根拠法)に基づき地域指定されている場合に、根拠法ごとに当該区域の旧市町村名等を記載すること。また、地方運輸局長等が指定する交通不便地域等が存在する場合には、該当する区域名を記載すること。
- 5. 「根拠法」の欄は、交通不便地域を地方運輸局長等が指定した場合は、「局長指定」と記載すること。また、乗用タクシー以外での輸送が著しく困難であるものとして地方運輸局長等が認めた場合は、「局長指定(乗用)」と記載すること。
- 6. 「特例適用開始年度」の欄は、地域公共交通利便増進実施計画又は地域旅客運送サービス継続実施計画を策定し、特例を適用する場合に記載すること。

(2)添付書類

1. 「人口集中地区以外の地区」及び「交通不便地域等」の区分が分かる地図を添付すること。 (ただし、全域が交通不便地域等となる場合には省略可)

長岡市地域公共交通計画

地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統)に関する記載箇所一覧表

1. 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統の地域の公共交通における位置づけ・役割

長岡市地域公共交通計画(本編)P73~80

2. 前号を踏まえた地域公共交通確保維持事業の必要性

長岡市地域公共交通計画(本編)P78~80

3. 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統に係る事業及び実施主体の概要

長岡市地域公共交通計画(本編)P78

4. 地域公共交通計画の区域内全体における地域旅客運送サービスの利用者の数、収支、費用に係る国又は地方公共団体の支出の額その他の定量的な目標・効果及びその評価手法

長岡市地域公共交通計画(本編)P81~85

協議事項第1号

地域内生活交通の利用状況

1. 小国地域

(1) 令和6年度の運行内容

運行主体: NPO 法人 MTN サポート

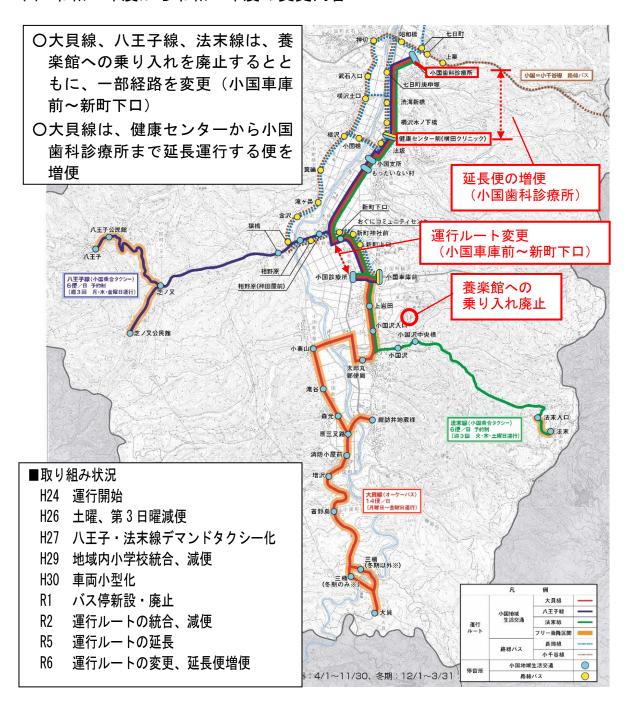
運行形態:【大貝線】コミュニティバス 【八王子線、法末線】乗合タクシー

運賃:大人200円、小学生100円、大貝線のみ回数券、定期券

運 休 日 (大貝線): 土日祝日、お盆 (8/14~15) 年末年始 (12/31~1/3)

運 行 日:八王子線 月·水·金、法末線 火·木·土

(2) 令和5年度から令和6年度の変更内容



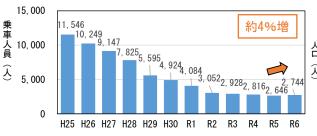
(3) 令和6年度の利用状況

- ○令和5年度と比べて全路線計では約2%増となっている。
- ○路線別では**大貝線が約4%増、八王子線が約74%減、法末線が約50%増**となっている。
- ○令和6年度は、大貝線で健康センターから小国歯科診療所まで延長運行する便を増便し 利便性を高めたことや、乗り方チラシを全戸配布し新規利用者が増えたことで利用者が 増加したと考えられる。
- ○また、法末線では特定の高齢者利用が増加したと考えられる。
- ○八王子線は少子高齢化による人口減少、特定の高齢者利用の減少によって減少したと考えられる。

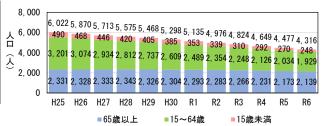
地域内小学校の合併により、小学 八王子線・法末線を ■全路線計 事前予約制に変更 生利用者がスクールバスへ移行 20,000 乗車人員(人 約2%增 36 11, 008 9, 778 8, 559 6, 137₅, 309₄, 369₃, 242₃, 017₂, 931₂, 719 15,000 12, 386 10,000 5,000 H26 H27 H28 H29

■各路線別

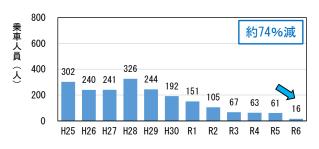
①大貝線



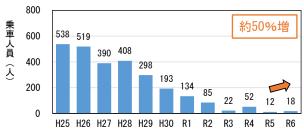
【参考・地域人口の推移】



②八王子線



③法末線



		H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
利用者数	(合計)	12, 386	11, 008	9, 778	8, 559	6, 137	5, 309	4, 369	3, 246	3, 017	2, 931	2, 719	2, 778
	運行便数	5, 960	4, 920	4, 900	4, 900	4, 410	4, 392	4, 302	3, 416	3, 416	3, 416	3, 388	3, 388
大貝線	利用者数	11, 546	10, 249	9, 147	7, 825	5, 595	4, 924	4, 084	3, 052	2, 928	2, 816	2, 646	2, 744
	1便当たり	1.9	2. 1	1. 9	1.6	1.3	1.1	0. 9	0. 9	0.9	0.8	0.8	0.8
	運行便数	616	616	207	201	176	142	110	86	56	58	59	16
八王子線	利用者数	302	240	241	326	244	192	151	105	67	63	61	16
	1便当たり	0.5	0.4	1. 2	1.6	1.4	1.4	1.4	1. 2	1. 2	1.1	1. 0	1. 0
	運行便数	616	620	267	229	174	146	105	68	20	37	12	18
法末線	利用者数	538	519	390	408	298	193	134	89	22	52	12	18
	1便当たり	0.9	0.8	1. 5	1.8	1. 7	1. 3	1. 3	1. 3	1. 1	1.4	1. 0	1.0

2. 川口地域

(1) 令和6年度の運行内容

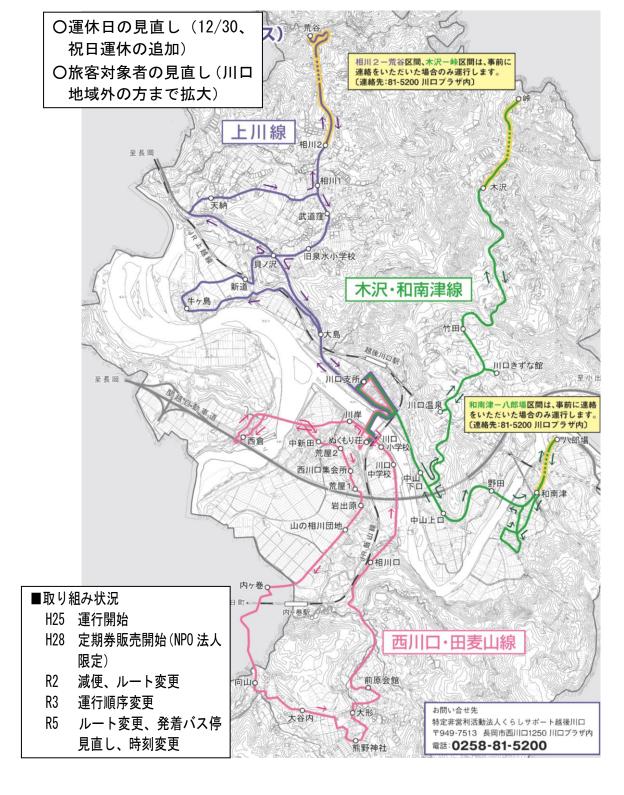
運行主体: NPO 法人くらしサポート越後川口

運行形態:コミュニティバス

運 賃:大人200円、小学生100円、回数券、定期券(NPO会員限定)

運 休 日: 土日祝日、年末年始(12/30~1/3)

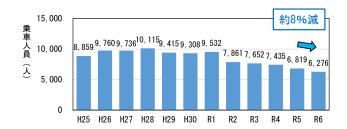
(2) 令和5年度から令和6年度の変更内容



(3) 令和6年度の利用状況

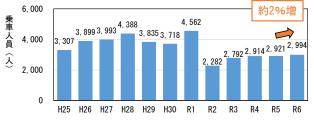
- ○令和5年度と比べて全路線計では約8%減となっている。
- ○路線別では、<u>西川口・田麦山線が約2%増</u>、<u>上川線が約12%減、木沢・和南津線が約</u>19%減となっている。
- ○令和6年度の全路線合計の利用者数は減少しており、特に上川線や木沢・和南津線では人口減少や特定の高齢者利用の減少などが考えられる。
- ○西川口・田麦山線では、運休日の見直しにより運行便数は減少したものの、令和 5 年度に行った運行ルートの見直し・発着バス停の見直しによる利便性向上のほか、運行内容や利便性の認知度が高まったことで利用者は増加したと考えられ、1 便当たりの平均利用者数も2.1 人と増加した。

■全路線計

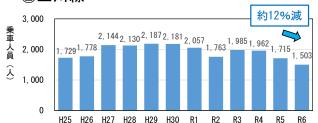


■各路線別

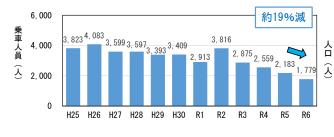
①西川口:田麦山線



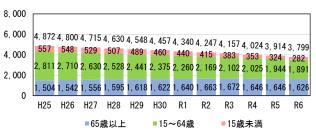
②上川線



③木沢・和南津線



【参考 地域人口の推移】



		H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
利用者数	(合計)	8, 859	9, 760	9, 736	10, 115	9, 415	9, 308	9, 532	7, 861	7, 652	7, 435	6, 819	6, 276
西川口	運行便数	1, 799	1, 806	1, 820	1, 813	1, 799	1, 806	1, 806	1, 554	1, 554	1, 554	1, 548	1, 458
	利用者数	3, 307	3, 899	3, 993	4, 388	3, 835	3, 718	4, 562	2, 282	2, 792	2, 914	2, 921	2, 994
田麦山線	1便当たり	1.8	2. 2	2. 2	2. 4	2. 1	2. 1	2. 5	1. 5	1.8	1. 9	1. 9	2. 1
	運行便数	1, 799	1, 806	1, 820	1, 813	1, 799	1, 806	1, 806	1, 554	1, 554	1, 554	1, 548	1, 458
上川線	利用者数	1, 729	1, 778	2, 144	2, 130	2, 187	2, 181	2, 057	1, 763	1, 985	1, 962	1, 715	1, 503
	1便当たり	1.0	1.0	1.2	1. 2	1. 2	1. 2	1.1	1.1	1.3	1. 3	1.1	1. 0
木沢	運行便数	1, 799	1, 806	1, 820	1, 813	1, 799	1, 806	1, 806	1, 554	1, 554	1, 554	1, 548	1, 458
•	利用者数	3, 823	4, 083	3, 599	3, 597	3, 393	3, 409	2, 913	3, 816	2, 875	2, 559	2, 183	1, 779
和南津線	1便当たり	2. 1	2. 3	2. 0	2. 0	1. 9	1. 9	1.6	2. 5	1. 9	1. 6	1. 4	1. 2

3. 山古志地域

(1) 令和6年度の運行内容

運行主体:NPO法人中越防災フロンティア

運行形態:コミュニティバス

運 賃:大人200円、小学生100円、回数券、定期券

運 休 日:日祝、年末年始(12/29~1/3)、お盆(8/13~8/15)

(2) 令和5年度から令和6年度の変更内容



(3) 令和6年度の利用状況

- ○令和5年度と比べて全路線計では約13%減となっている。
- ○路線別では、<u>村松線が約 15%減</u>、<u>小千谷線が約 12%増</u>、<u>種苧原線が約 21%減</u>、<u>小松倉</u> **線が約 4%減**となっている。
- ○村松線、種苧原線、小松倉線は人口減少や特定利用者の減少等が考えられる。
- ○種苧原線及び小松倉線は令和 5 年度から小・中学生合計の利用人数に変化はないが、利用者が減少していることから、高齢者の利用が減少したと考えられる。
- ○小千谷線では、高校生の通学利用があり利用者が増加している。

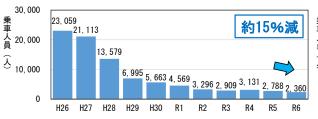


【参考 地域人口の推移】

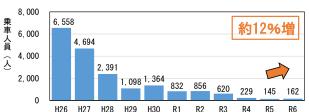


■各路線別

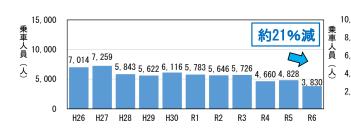
①村松線



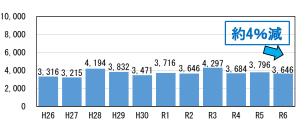
②小千谷線(旧岩間木線)



③種苧原線



④小松倉線



		H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
利用者数	(合計)	39, 947	36, 281	26, 007	17, 547	16, 614	14, 900	13, 444	13, 552	11, 704	11, 557	9, 998
	運行便数	4, 741	4, 531	4, 573	5, 522	4, 673	3, 435	3, 338	3, 435	3, 145	2, 406	2, 410
村松線	利用者数	23, 059	21, 113	13, 579	6, 995	5, 663	4, 569	3, 296	2, 909	3, 131	2, 788	2, 360
	1便当たり	4. 9	4. 7	3. 0	1. 3	1. 2	1. 3	1.0	0.8	1.0	1. 2	1.0
	運行便数	2, 495	2, 328	2, 286	2, 083	1, 352	1, 282	1, 308	1, 305	1, 190	122	141
小千谷線	利用者数	6, 558	4, 694	2, 391	1, 098	1, 364	832	856	620	229	145	162
	1便当たり	2. 6	2. 0	1.0	0. 5	1.0	0. 7	0. 7	0. 5	0. 2	1. 2	1. 1
	運行便数	3, 133	3, 082	3, 199	3, 049	2, 967	1, 820	2, 329	2, 332	2, 189	1, 614	1, 580
種苧原線	利用者数	7, 014	7, 259	5, 843	5, 622	6, 116	5, 783	5, 646	5, 726	4, 660	4, 828	3, 830
	1便当たり	2. 2	2. 4	1.8	1.8	2. 1	3. 2	2. 4	2. 5	2. 1	3.0	2. 4
	運行便数	2, 411	2, 355	2, 585	2, 599	2, 850	1, 820	1, 747	1, 749	2, 182	1, 552	1, 634
小松倉線	利用者数	3, 316	3, 215	4, 194	3, 832	3, 471	3, 716	3, 646	4, 297	3, 684	3, 796	3, 646
	1便当たり	1.4	1.4	1.6	1. 5	1. 2	2. 0	2. 1	2. 5	1. 7	2. 4	2. 2

4. 寺泊•和島地域

(1) 令和6年度の運行内容

運行主体:寺泊交通株式会社

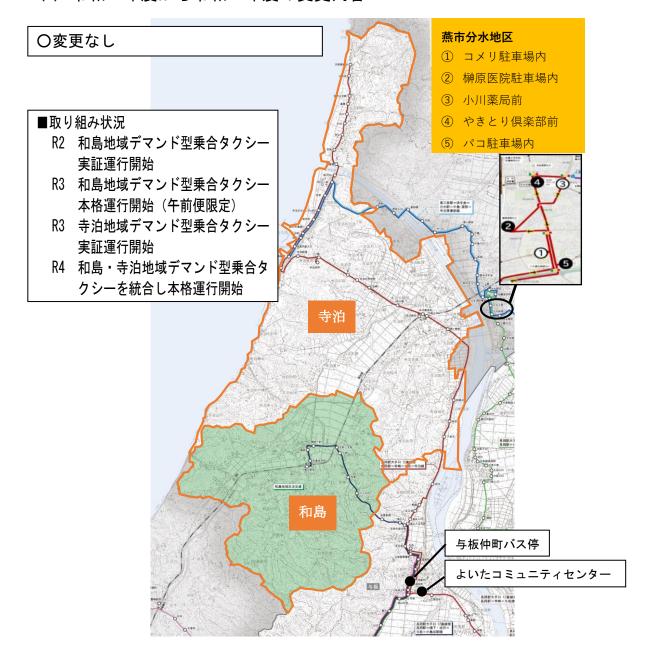
運行形態:デマンド型乗合タクシー

運 休 日:火・木・土・日・祝日、年末年始 (12/29~1/3)

運 賃:

	乗降	:区域		片道料金
和島地域内			寺泊地域内	200円
和島地域⇔与板地域	寺泊地域ぐ	⇒分水地区	寺泊地域⇔和島地域	400 円
	和島地域ぐ	⇒分水地区		600円
	寺泊地域ぐ	⇒与板地域		800円
未勍	党児(席を	必要としな	()	無料

(2) 令和5年度から令和6年度の変更内容

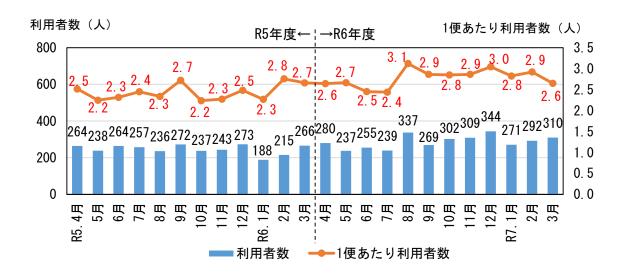


(3) 令和6年度の利用状況

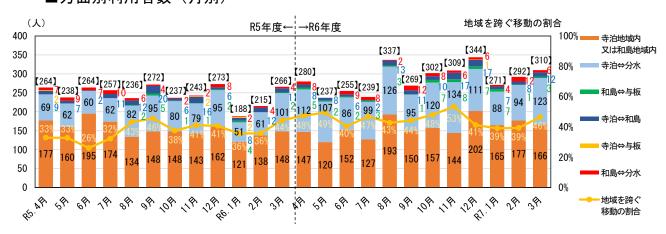
- ○令和6年度の利用者は3,445人となり、令和5年度より増加している。
- ○1 便あたり利用者数は平均 2.8 人となり、令和 5 年度より増加している。
- ○方面別では、<u>地域内での利用が最も多く</u>、<u>次いで寺泊地域から分水への利用が多く</u>なっており、いずれも利用者が増加傾向にある。そのほかの方面ではおおむね横ばいで推移している。
- ○また、地域を跨いで移動する割合について、令和 5 年度は 26~46%で推移していたが、 令和 6 年度は 39~53%で推移しており、地域を跨ぐ利用方法の認知度が高まっているも のと考えられる。

■月別利用者数の推移

R5 年度 (R5.4 ~R6.3) 利用者数: 2,953 人 (1 便当たり平均 2.4 人) R6 年度 (R6.4 ~R7.3) 利用者数: 3,445 人 (1 便当たり平均 2.8 人)



■方面別利用者数(月別)



(4) 今後について

- ○令和7年度は、引き続き令和6年度と同じ内容で運行する。
- ○また、広報活動等による利用促進策を検討していく。

5. 栃尾地域

(1) 令和6年度の運行内容

運行主体:秋葉タクシー株式会社【西谷線】【塩谷線】

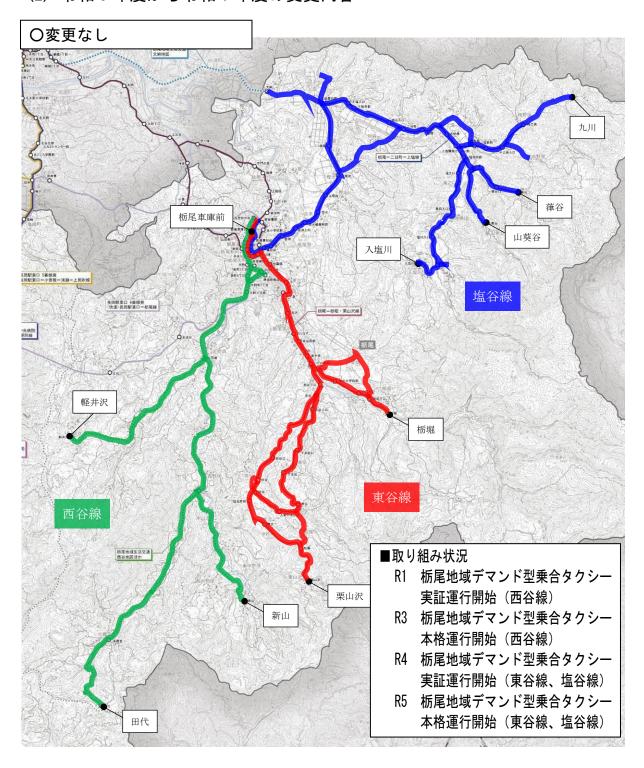
栃尾タクシー株式会社【東谷線】

運行形態:デマンド型乗合タクシー

運 賃:1乗車200円~600円(距離に応じた設定)

運 休 日:年始 (1/1~1/3)

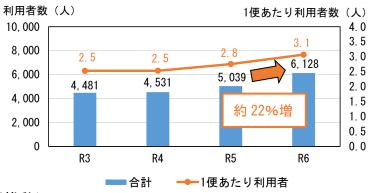
(2) 令和5年度から令和6年度の変更内容



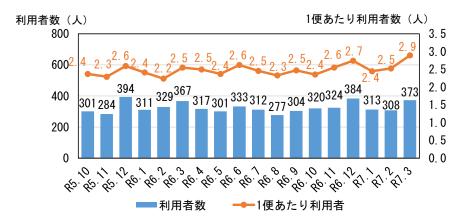
(3) 令和6年度の利用状況

- ○西谷線は令和5年度と比べて約22%増加となっている。
- ○また、西谷線の1便当たりの利用者数は平均3.1人と増加している。
- ○西谷線は本格運行開始から4年となり、認知度が高まってきたと考えられる。
- ○東谷線は令和5年10月から本格運行を開始しており、概ね横ばいで推移している。
- ○塩谷線は令和5年10月から本格運行を開始しており、令和6年度に着目すると7月までは増加傾向が見られたが、その後は**減少傾向に転じている**。

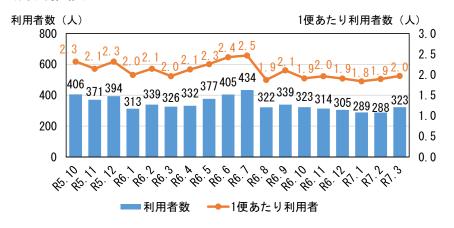
■西谷線(年別推移)



■東谷線(月別推移)



■塩谷線(月別推移)



(4) 今後について

- ○令和7年度は、引き続き令和6年度と同じ内容で運行する。
- ○また、広報活動等による利用促進策を検討していく。

協議事項第2号

交通空白地対策について

1 要旨

国土交通省では、全国の「地域の足」「観光の足」を確保するため、令和7~9年度を「交通空白解消・集中対策期間」として対策を強化。「交通空白」解消の取組を後押しするため、令和7年度「『交通空白』解消等リ・デザイン全面展開プロジェクト(「『交通空白』解消緊急対策事業」)の公募を行った。

応募期間:令和7年3月10日(月)~4月7日(月)

2 長岡市の対応

同プロジェクトへ応募し、<u>4月28日(月)付けで採択(全国で200件)</u>。 ※長岡市6月補正予算として要求

3 長岡市の課題

中山間地等の過疎地においては、既にコミュニティバス、デマンド型乗合タクシー等による地域生活交通を運行することで、幹線の補完や交通空白地解消を実施。

長岡地域・・・主に郊外において、バス停から遠い地区、またはバス路線上であっても、時間的空白が生じる地区が点在し、買い物、通院が困難な方の声が増加。

中之島地域・・「長岡市地域公共交通計画」において、交通空白地が広がる地域として記載。平成29年度にデマンド型乗合タクシーの実証実験を実施したが、稼働率が約17%の結果に終わり、本格運行へ移行していない。令和7年度は地域生活交通検討委員会を立上げ、検討開始。

【交通空白リスト】を提出 (補助要件)

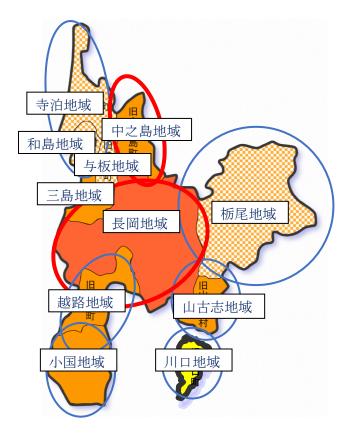
■長岡地域

人口:約185千人 面積:262.45 km²

■中之島地域

人口:約10千人 面積:42.55 k㎡

地域生活交通を運行



4 事業内容

事業名:「長岡地域、中之島地域における交通空白地調査業務」

<スケジュール(案)>

7月~8月 事業者選定 (簡易評価型プロポーザル)、委託契約締結 9月~ 事業開始

- ・基礎データに基づく現況分析
- ・アンケート、ヒアリング等によるニーズ調査・分析
- ・合意形成支援(運行シミュレーション等)
- ・中之島地域生活交通検討委員会への事業者参加等

2月 実績報告

5 事業費

交通空白地調査業務委託 4,950,000 円

(国庫補助金 10/10)

6 事業後の方針

長岡地域・・・抽出した小規模な交通不便地区の需要に対する、地域が主体となった移動支援制度について検討を進める。

中之島地域・・地域生活交通検討委員会の中で、具体的な解決手法の実践。

調査・分析結果は、令和8~9年度にかけて見直しを予定している、「長岡市地域公共交通計画」の基礎資料として活用する。

協議事項第3号

令和7年度事業内容

今年度の取組み方針

「長岡市地域公共交通計画」に基づき、長岡市が各施策を実施する。

◎今年度の主な取組み内容

- 1. 主要事業
 - (1)路線バス及び公共交通空白地自家用有償運送(小国地域、川口地域、山古志地域・太田地区)の効率的な運行の検討
 - (2) デマンド型乗合タクシーの運行継続(栃尾地域、和島地域、寺泊地域)
 - (3) 意識啓発活動の推進(モビリティ・マネジメント)
 - (4) 路線バスキャッシュレス決済導入支援
 - (5) バスまちばの店舗拡大
 - (6) 交通空白地調査業務(長岡市:6月補正予算)
- 2. 協議会の開催
- (1) 2回開催(6月、2月を予定)
- (2) 必要により地域分科会の開催

1 長岡市地域公共交通協議会

項目	内訳	予算額(千円)	公共交通計画に おける位置づけ
協議会関係経費	会議費、事務費 事業費(委託料等)	3, 405	_

2 長岡市地域公共交通計画に基づく各種施策の推進

■ 施策1 基幹路線の維持及びサービスレベル向上

項目	内訳	予算額(千円)	公共交通計画に おける位置づけ
路線バス補助金	低収益、県単 市単、協力金	141, 649	【事業 1-1】

■ 施策2 地域内路線の維持及びサービスレベル向上

項目	内訳	予算額(千円)	公共交通計画に おける位置づけ
デマンド型乗合タ クシー補助金	栃尾、寺泊・和島	36, 752	【事業 2-1】
見附市活性化協議 会負担金	栃尾(文納地区)	1,008	【事業 2-1】
生活交通事業委員 会負担金	寺泊・和島	100	【事業 2-2】

■ 施策3 鉄道や高速バス路線の維持及びサービスレベル向上

項目	内訳	予算額(千円)	公共交通計画に おける位置づけ
各種同盟会、協議会 への負担金	新潟県、沿線自治体等	155	【事業 3-1】

■ 施策4 輸送資源の総動員による移動手段の確保

項目	内訳	予算額(千円)	公共交通計画に おける位置づけ
交通空白地調査業	長岡地域の一部	4, 950	【事業 4-1】
務委託費	中之島	※市6月補正	【事未 4 1】
生活交通検討委員	中之島	133	【事業 4-1】
会負担金	下 人 田	155	【事未 4 1】
自家用有償旅客	小国、川口、	66, 400	【事業 4-2】
運送補助金	山古志・太田	00, 400	
安全運転講習会費	同上	70	【事業 4-2】

■ 施策5 運転士等の確保

項目	内訳	予算額(千円)	公共交通計画に おける位置づけ
バス運転士体験会	I	0	【事業 5-1】

■ 施策6 利用促進

項目	内訳	予算額(千円)	公共交通計画に おける位置づけ
SNS を活用した利用 促進(乗り方動画) (デマンド型乗合タクシー)	寺泊、和島	100	【事業 6-1】
公共交通の周知・PR	_	0	【事業 6-2】
転入者への公共交通 マップ配布	全域版(追加) 中心部	0	【事業 6-4】

■ 施策7 自家用車から公共交通への転換促進

項目	内訳	予算額(千円)	公共交通計画に おける位置づけ
自転車通行空間 の整備	ブルーライン整備 (L=600m)	6,000	【事業 7-3】

■ 施策8 バス待ち環境の改善

項目	内訳	予算額(千円)	公共交通計画に おける位置づけ
バス待合所 設置事業補助金	町内会が設置する ものに対して補助	1,000	【事業 8-1】
店舗を活用したバ ス待合スペース	店舗追加	協議会関係経費に含む	【事業 8-1】

■ 施策9 新しい技術の導入

項目	内訳	予算額(千円)	公共交通計画に おける位置づけ
新公共交通システム 勉強会	_	協議会関係経費に含む	【事業 9-2】
路線バスキャッシュ レス決済導入支援補 助金	-	5, 000	【事業 9-2】

■ 施策10 バリアフリーの促進

項目	内訳	予算額(千円)	公共交通計画に おける位置づけ
ノンステップバス の導入補助金	_	0	【事業 10-1】

■ 施策11 わかりやすい情報提供

項目	内訳	予算額(千円)	公共交通計画に おける位置づけ
バス位置情報配信 システム運用費用	_	6, 306	【事業 11-2】